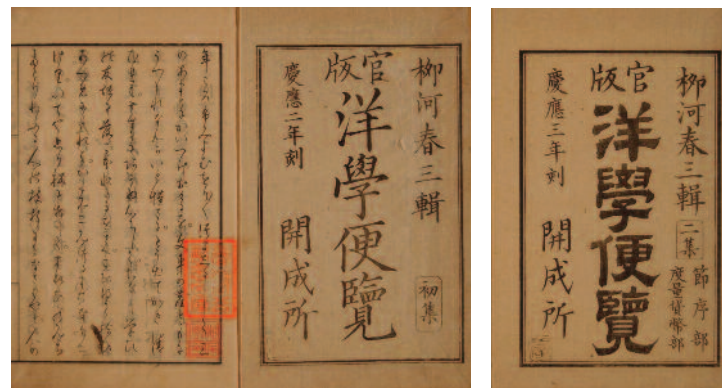
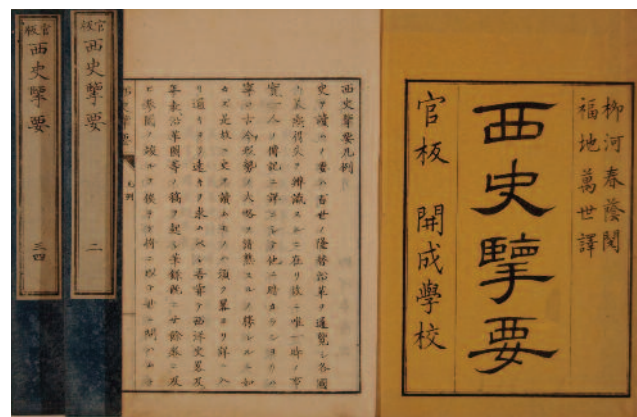


★本の大きさについて★

半は半紙判、洋装本の菊判（A5）に相当するもの。中とあるは美濃半截、洋装の四六判（B6）に相当。小は半紙半截以下のもの。大は美濃判、又はそれ以上の大形本。横は横綴本を指し、三ッ切は美濃判や半紙判を横に三つに截ったものを指します。

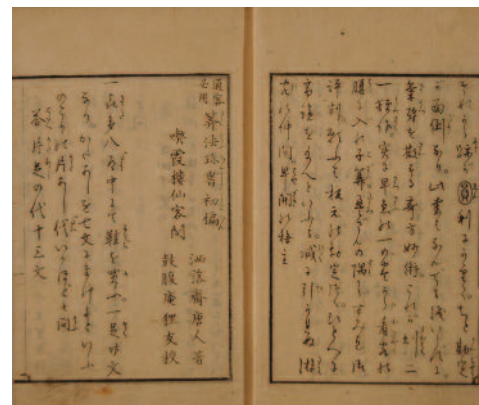
- 001 洋學便覽 初集・二集 簽 慶應2年・慶應3年刊 中2冊 240,000
=初集は雁皮紙刷り 帙入
- 002 官版 西史要覽 4巻 簽 福地萬世（源一郎）譯 明2 半3冊 120,000
=柳河春三閤 開成學校美本 帙入 卷之三に少虫



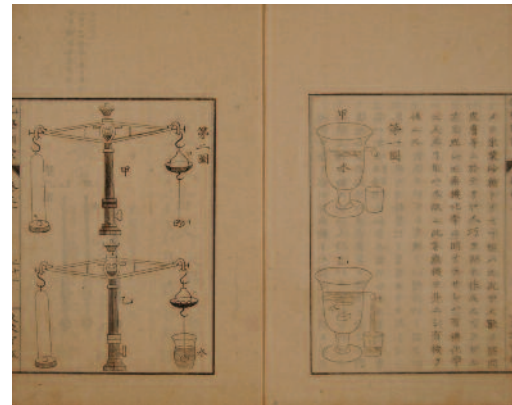
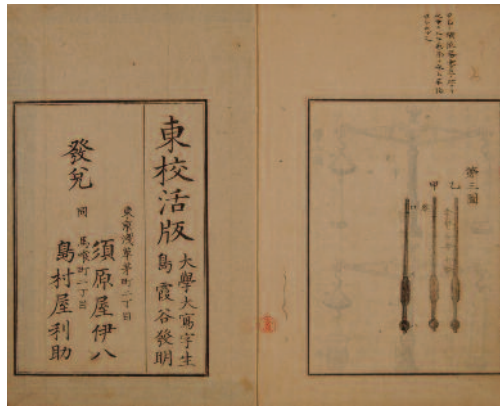
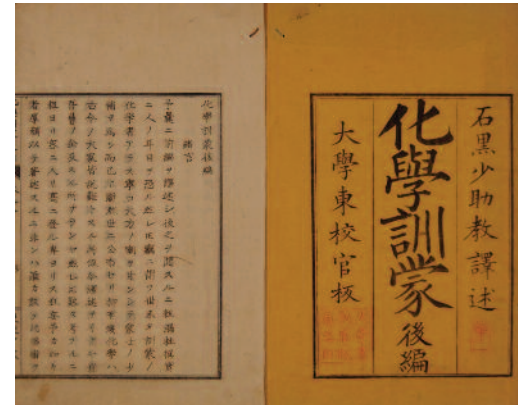
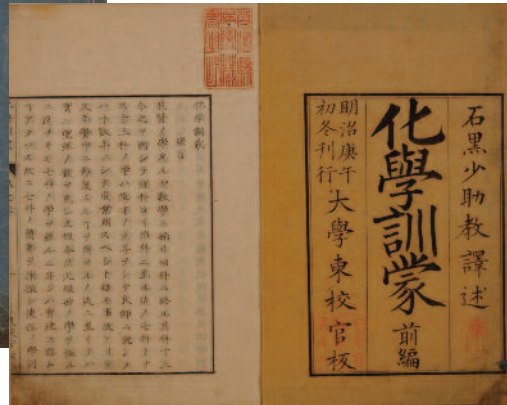
003 通客必携 算法珍書

纂 柳河春三著刊 明2 中1冊 品切れ

=福地源一郎序 吾國初の西洋算法の刊本『洋算用法』の著者柳河春三の算法問答の戯作本であり珍本 映入



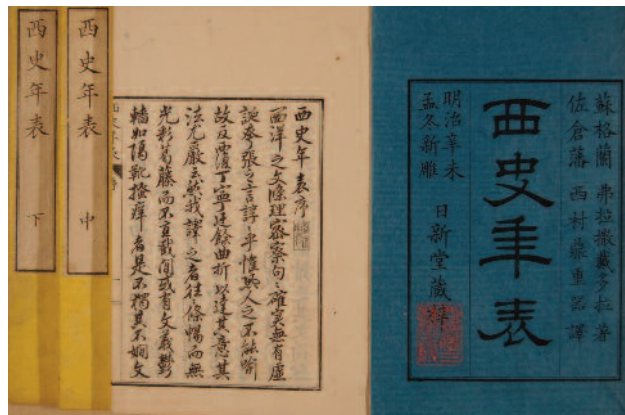
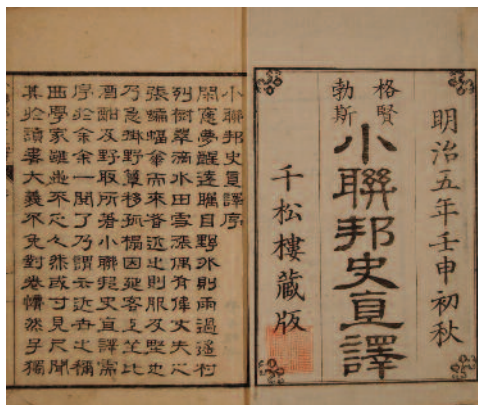
004 化學訓蒙 前編 5 卷・後編 2 卷揃 合本 簽 帙入 明 3 半 3 冊 200,000
 =石黒少助教譯 大學東校官板 島霞谷製金屬活字版 活字版の初版傳本は稀少



005 格賢勃斯 小聯邦史直譯 上卷 簽 服部照朝譯 明 5 中 1 册 15,000

006 英國史 5 册 (8 卷) 簽 極美本 帙入 文久元年刊 半 5 册 85,000
=英國慕維廉著 長門溫知社藏梓

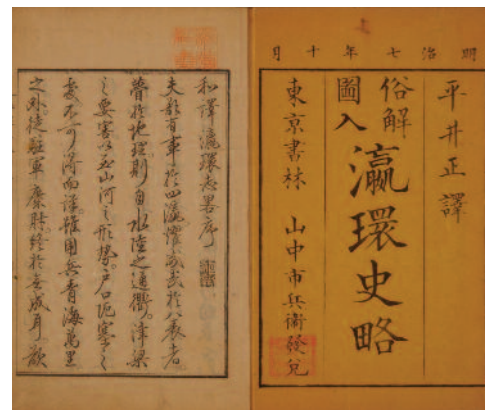
007 西史年表 3 卷 簽 極美本 帙入 西村茂樹譯 明 4 大 3 册 25,000
=蘇格蘭・弗拉徹載多拉著 日新堂



- 008 瀛環志略 10 卷 簽 新本同様の極美本 文久元年刊
=徐繼畲著 井上春洋・森荻園・三守柳園訓點 帙入
- 009 俗解圖入 瀛環史略 6 卷 簽 帙入 明 7
=平井正譯 海後宗臣舊藏本 山中市兵衛發兌

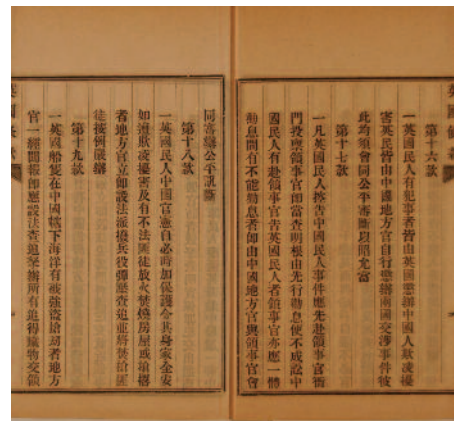
大 10 冊 品切れ

半 6 冊 品切れ



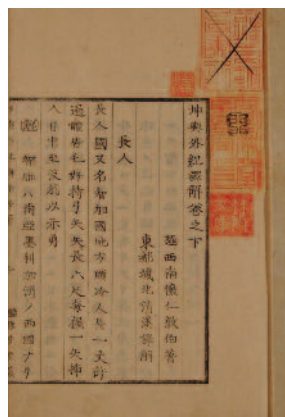
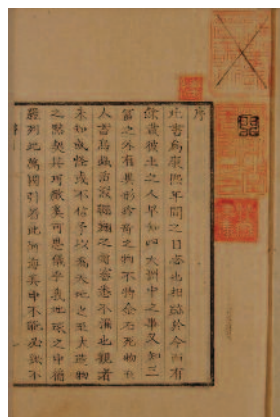
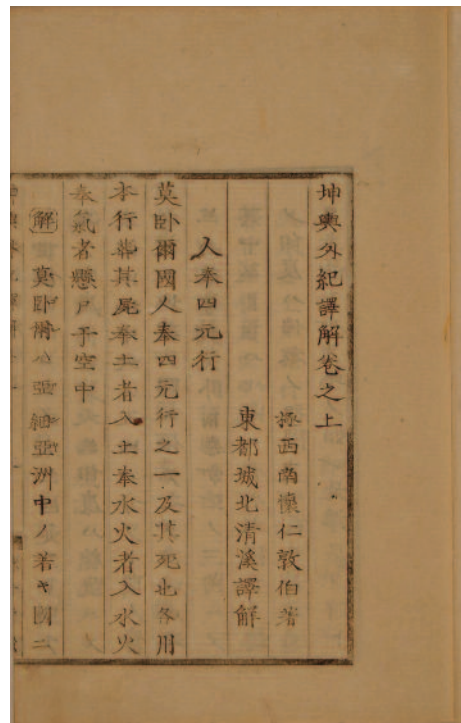
010 古今萬國綱鑑錄 3巻 纂 袋附 極美本 帙入 明7 大3冊 品切れ
 =英國模禮菴著 大槻誠之訓點 塚本明毅他関

011 五國條約（仮題） 唐本 纂（俄國の簽欠）光緒20年頃刊 半5冊 95,000
 =英國・美國・俄國・法國・德國の五カ國條約 金屬活字版 帙入 少虫





012 坤輿外紀譯解 乾坤卷 簽 美本 嘉永5年序 半2冊 品切れ
=極西南懷仁敦伯著 東都城北清溪譯解 木活字版 印有リ 帙入

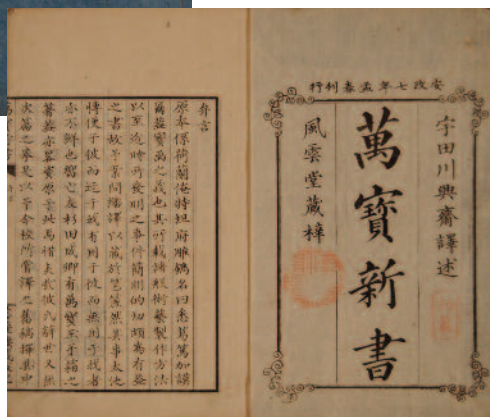
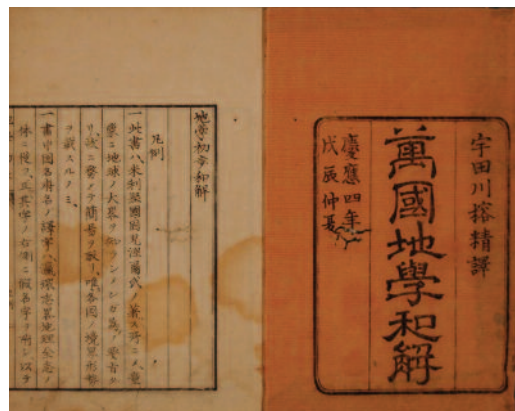


013 萬寶新書 初篇・二篇 簽 美本 帙入 安政7年刊 半2冊 50,000

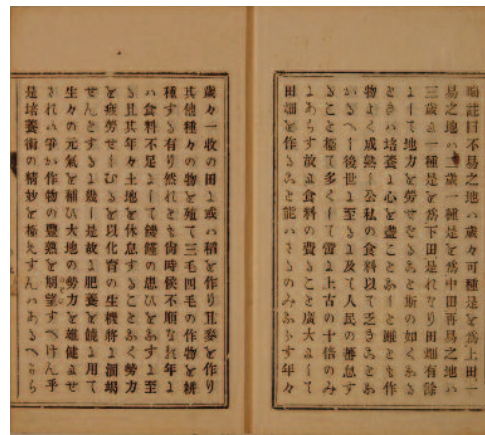
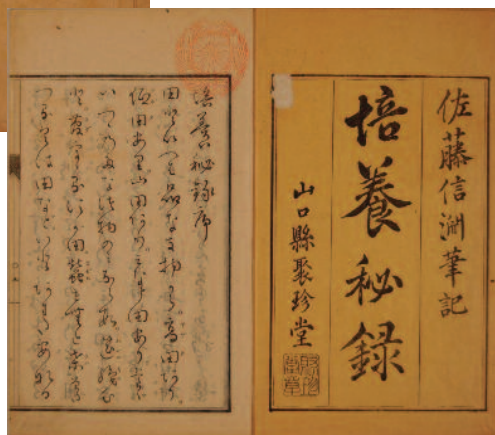
=宇田川興齋譯 風雲堂藏梓

014 萬國地學和解 簽欠 少虫シミ 末尾少墨書 慶應4年刊 中1冊 25,000

=米國コルネル著 宇田川裕精譯



- 015 活版 培養秘録 4巻 簒 佐藤信淵筆記 明7 半4冊 80,000
 =近藤芳枝序 山口縣聚珍堂 2號大字金屬活字版 帙入
- 016 海外 國勢便覽 簒 染ミ少傷ミ 明3 中横1冊 品切れ
 =内田中博士編 大學南校

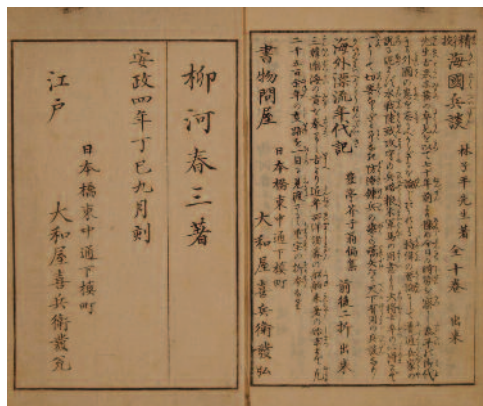


017 洋算用法 初編 筈 美本 帙入 柳河春三 安政4刊 中1冊 120,000

=江戸大和屋喜兵衛

018 洋算用法 第2編 筈 欠 表紙欠 柳河春三 明3 中1冊 45,000

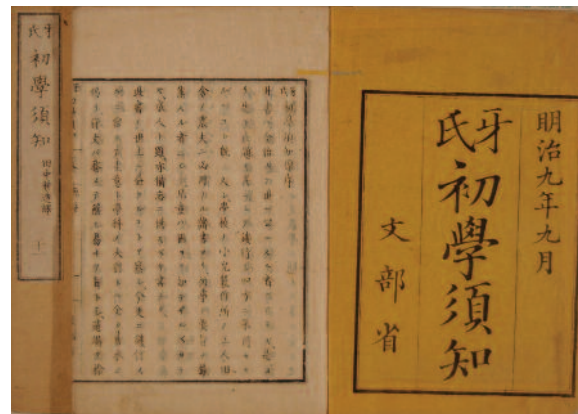
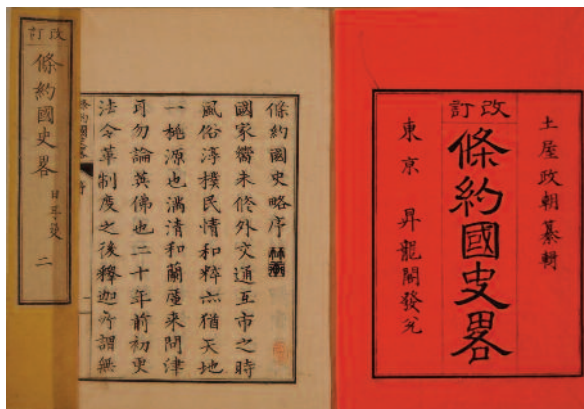
=鷺尾保卓意著 大和屋喜兵衛板 柳河が明治3年に亡くなった後の刊行。



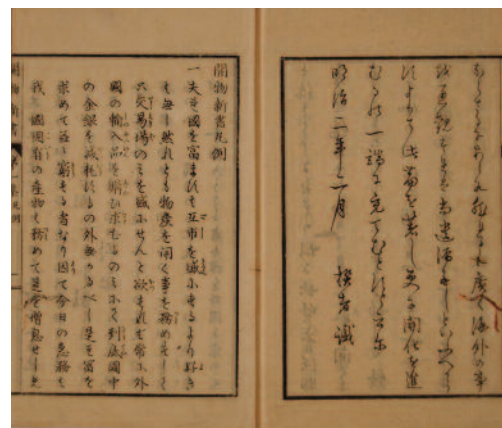
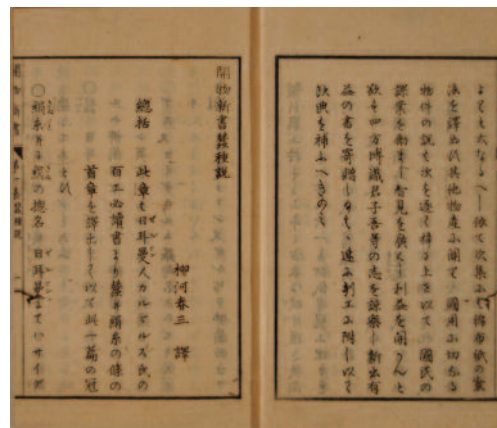
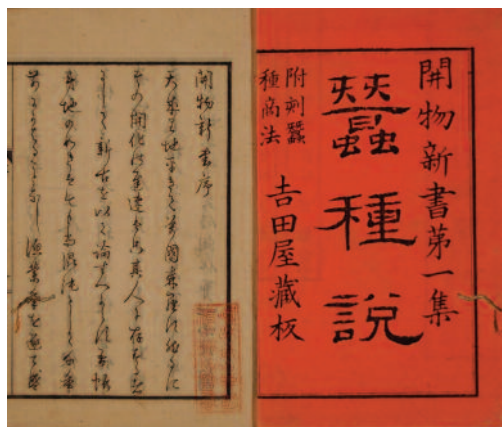
019 掌中 萬國一覽 簽（上部少剥落） 帙入 福澤諭吉 明2 三ッ切1冊 品切れ

020 改訂 條約國史略 日耳曼卷1・2 簽 極美本 明6 半2冊 35,000
=土屋政朝 昇龍閣 彩色刷地圖入り 帙入

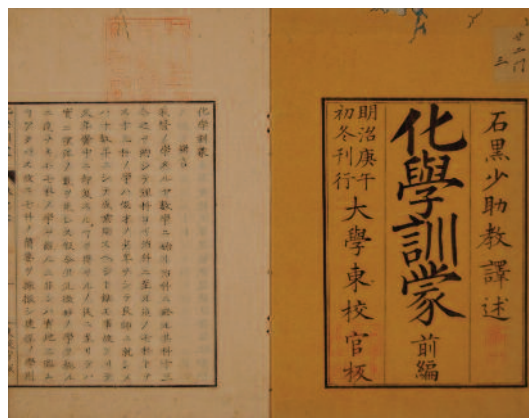
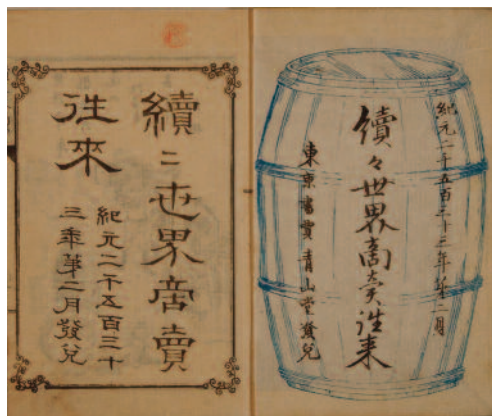
021 牙氏 初學須知 11巻 簽 文部省 明9 半15冊 25,000
=ガリグエー著 田中耕造譯



022 蠶種説 開物新書第一集 簽 少虫 吉田屋藏板 明2 中1冊 150,000
=柳河春三譯 附刻蠶種商法



- 023 續々世界商賣往來 袋附 簽欠 美本 青山堂發兌 明 6 中 1 冊 10,000
- 024 工學必携 自卷一至卷三 元合本 簽 明 8 中 1 冊 30,000
=山口縣士族長嶺讓編
- 025 化學訓蒙 前編卷 1 簽 大學東校官板 明 3 半 1 冊 30,000
=石黑少助教譯 島霞谷發明金屬活字版

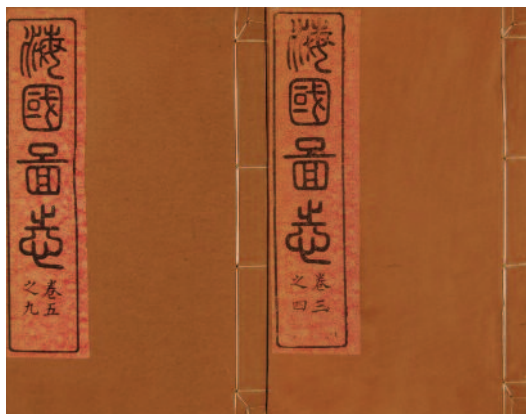
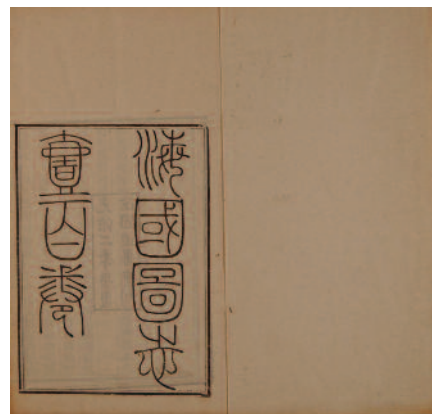


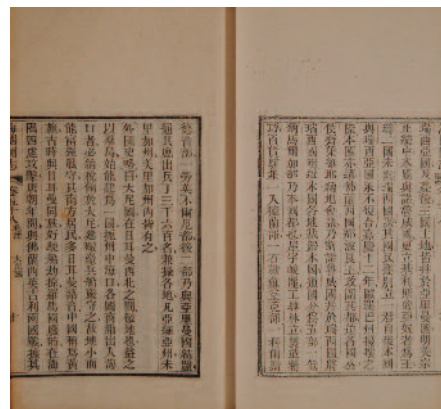
026 海國圖志 100 卷本 大揃

魏源著 唐本 美本 2 帙入 光緒 2 年 (1876)

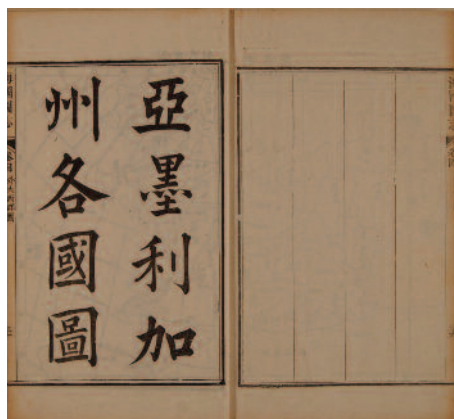
大 24 冊 品切れ

=全 24 冊の内題簽付は 20 冊。美本ながら第 16 冊、第 57 巻と 58 巻の第 9 丁までを欠くがコピーにて補充製本済み。15 ページ参照。



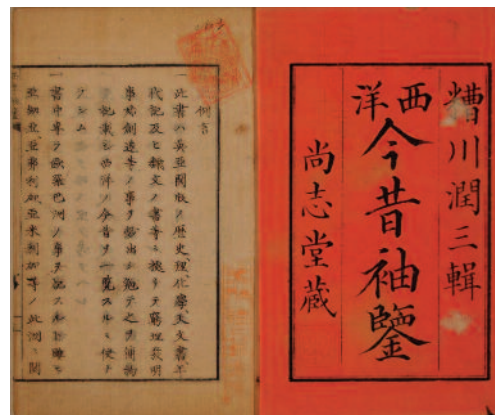
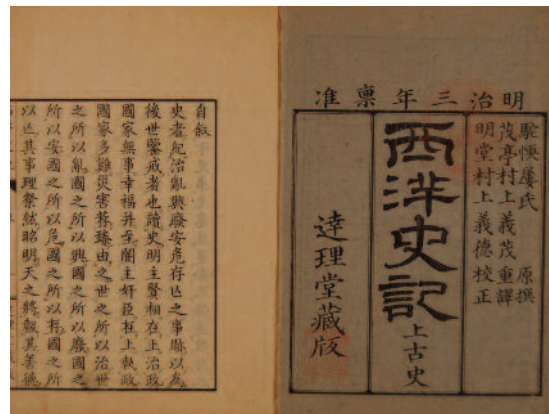


＜右の丁がコピー補充箇所＞



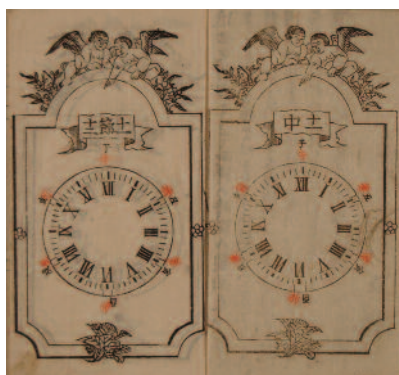
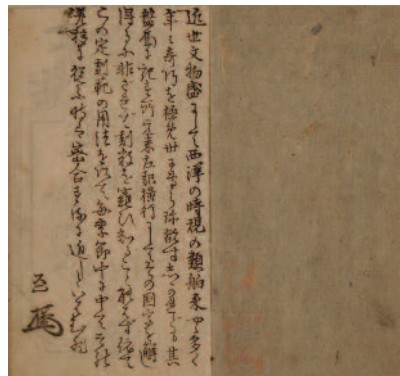
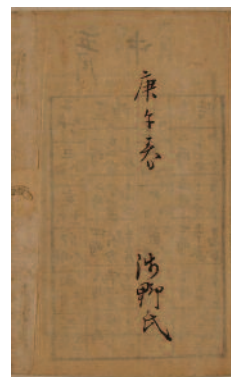
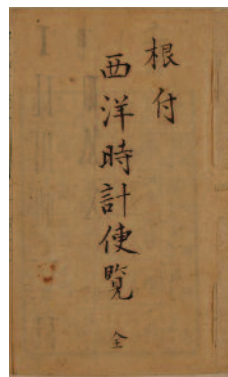
027 西洋史記 上古史・中古史全 11 卷 明治 3 年刊 大 10 冊 85,000
 = 仏蘭西ダニール著、村上茂亨（英俊）譯 村上義徳校正 達理堂藏版
 題簽付（卷 1 の題簽少切れ）

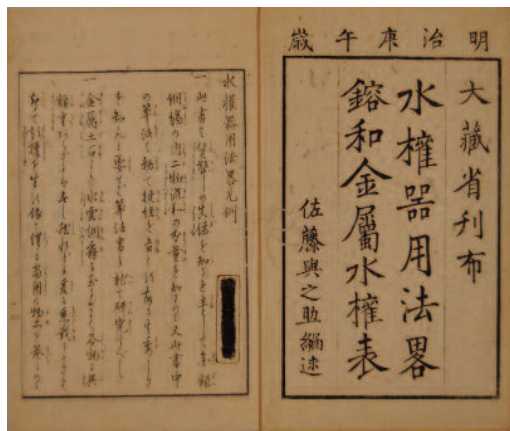
028 西洋 今昔袖鑑 簽欠 糟川潤三編 尚志堂 明 5 中 1 冊 15,000
 = 雁金屋清吉發兌 牧治三郎舊藏本



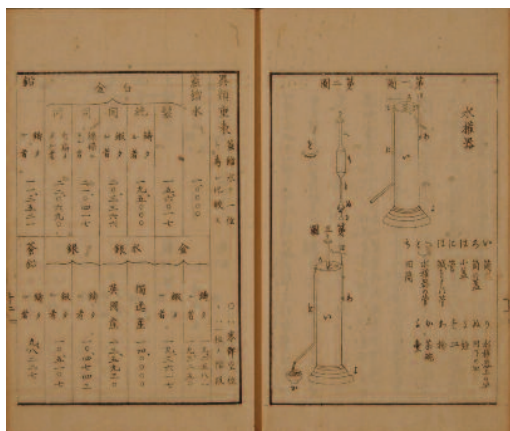
029 西洋時規定刻範 簾 袖珍本 7丁もの 嘉永安政頃刊 極小1冊 45,000

030 根付 西洋時計便覧 寫本 袖珍本 7丁もの 明治3春 極小1冊 15,000



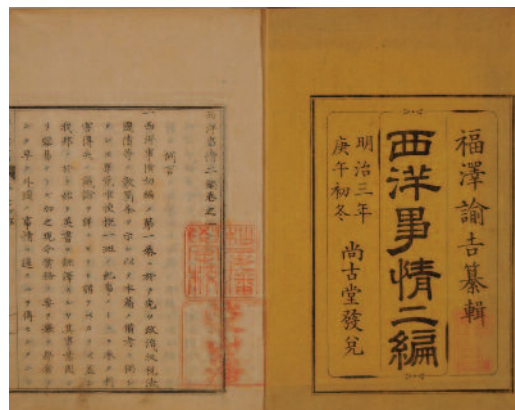
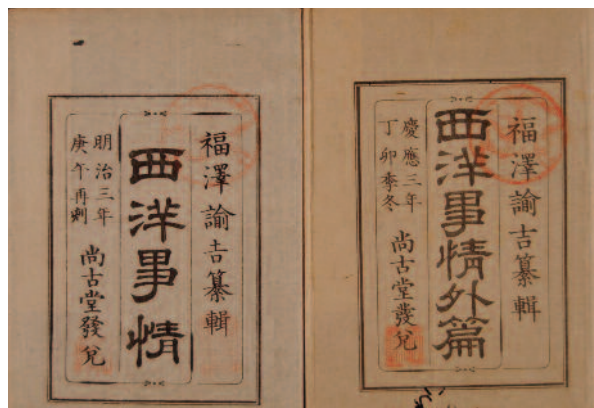


- 031 水権器用法畧 鎔和金屬水権表 書き題簽 帙入 明3 半1冊 品切れ
 =佐藤興之助編 大藏省刊布 少虫總裏打ち
- 032 訓蒙 窮理圖解 初編3巻 袋付 改正再刻 明6 中3冊 20,000
 =福澤諭吉著



033 西洋事情 初編・二編・外編 慶應3・明治3 半10冊 品切れ
 =福澤諭吉纂輯 初編と外編に袋付 簽 美本

034 西洋烟火之法 美本 清水卯三郎著版 明14 四六判1冊 品切れ
 =西洋花火の解説書 瑞穂屋藏版



035 改正 度量表

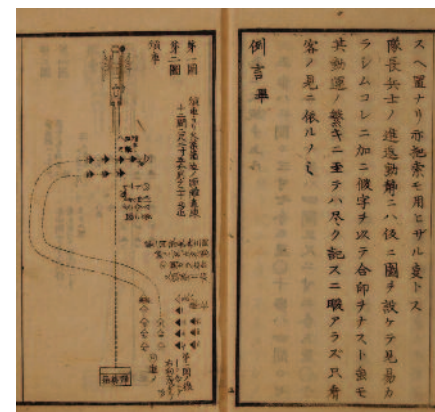
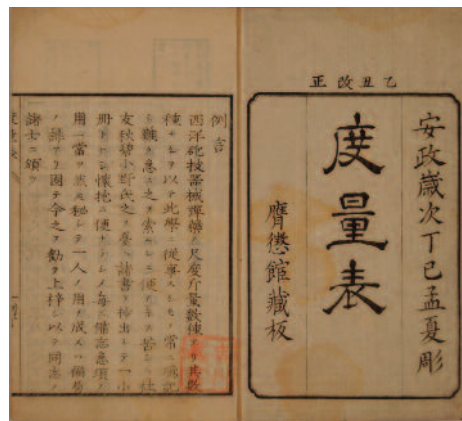
簽 膺懲館藏板 安政4年刊

中1冊 品切れ

036 野戦煩法圖解
=三光堂藏版

簽欠 牧冶三郎舊藏本 安政3年刊

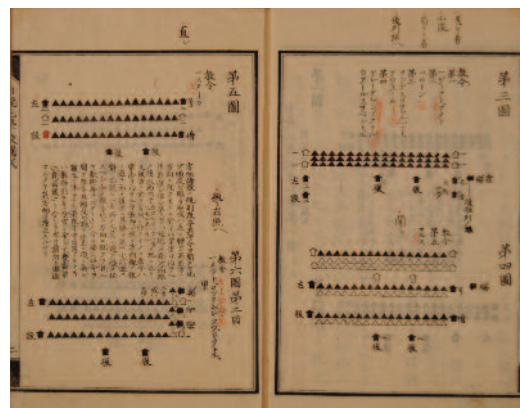
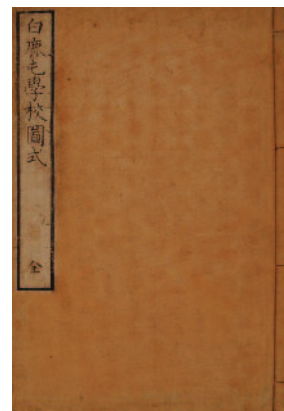
中1冊 品切れ



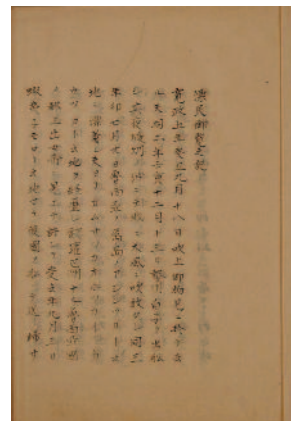
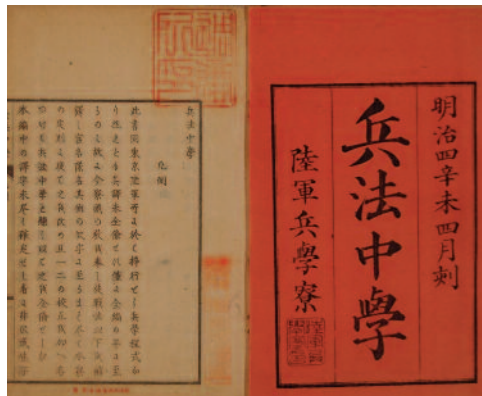
037 白鹿屯學校圖式
=學習書き入れ本

箋 膺懲館藏板 安政2年新鐫

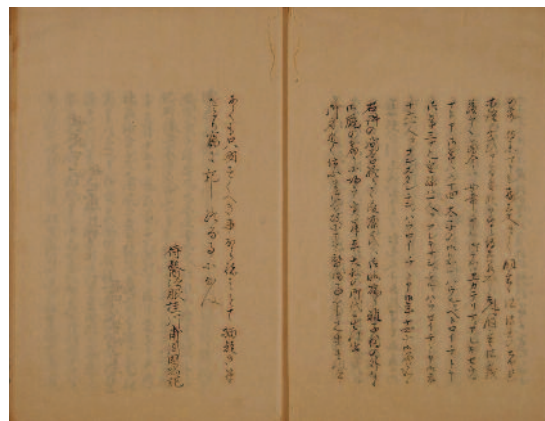
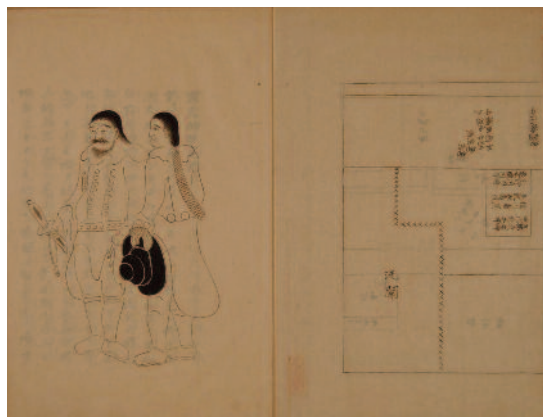
大1冊 品切れ



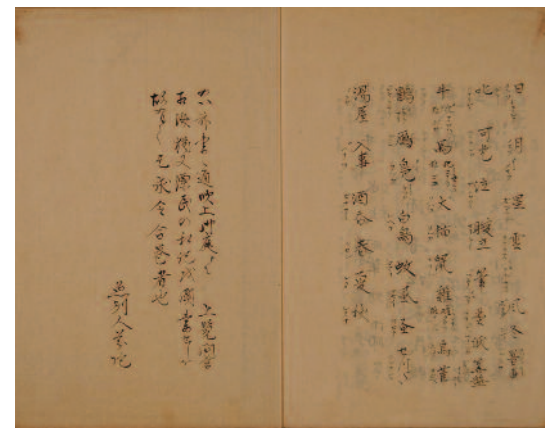
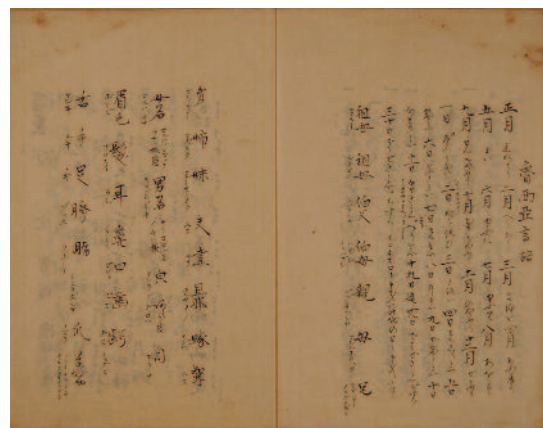
- 038 兵法中學 1～7巻（大尾）内第4巻欠 簽 明4 中6冊 45,000
=荒井宗道校 陸軍兵學寮 牧治三郎舊藏本



- 039 漂流御覽之記 精寫本 31丁 極美本 江戸末期寫 極大1冊 120,000
=侍醫法眼桂川甫周國瑞記 寛政七乙卯／秋九月上旬／魚別人芬陀写之
信州松代藩月岡氏舊藏。28.3×20.5cmの極大本。23 ページ圖掲参照。



039 漂民御覽之記

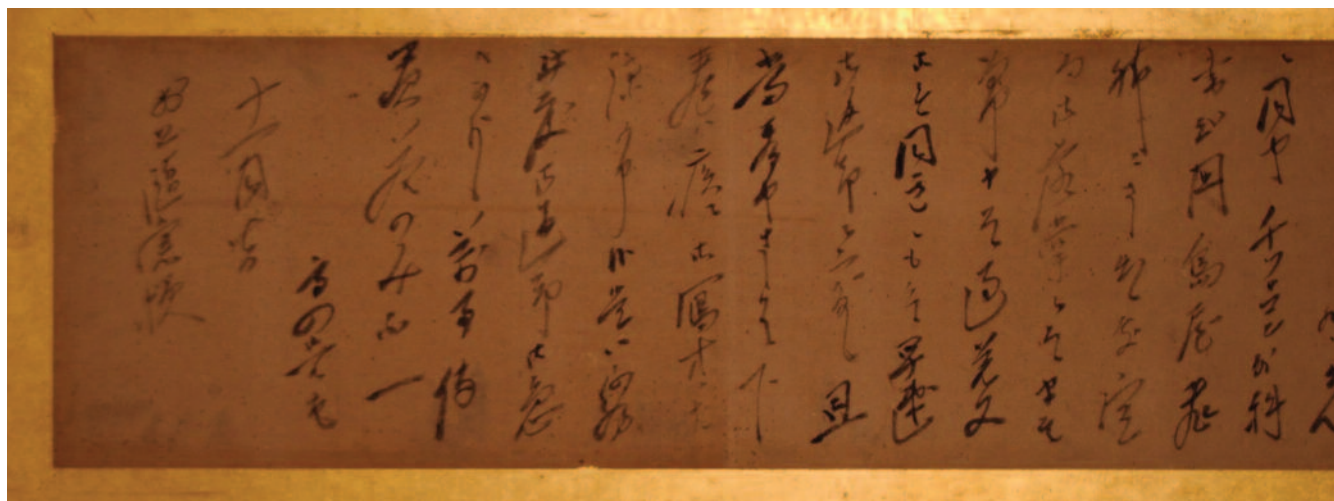
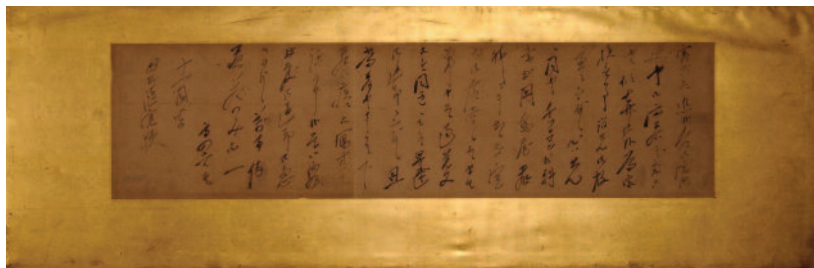


=村上随憲宛ての真筆 11月7日付

金色古額装 21行 27×82cm

長英がシーボルトの鳴滝塾で一緒に學んだ
上州境町の醫師村上随憲に宛てた書簡。

二人は親しき間柄で、長英はたびたび随憲
宅を訪れている。



041 佐久間象山自筆 ドゥーフ・ハルマ字書開板史料

一括 5,000,000

=嘉永2年9月～嘉永3年12月

佐久間象山が信州松代藩時代に企てた『ハルマ字書』増訂開板に關係する新出未發見史料。『象山全集』に於ける嘉永年間の空白を埋め、象山が『ハルマ字書』開板のための金策に奔走しその苦闘を知り得ることが出来る。字書開板のための象山自筆借入通帳や「金千両」借入覚え書きなどをはじめ文書多数。史料の舊藏者は象山の良き理解者だった松代藩士竹村金吾である。26・27 ページ圖掲参照。



覽

一金千兩也

此金而一金者手刻之社也四兩傳者乃金

各名而序詞主此而能之今故臣

公儀恭

印及再此詞主

以上各院之

三

厚詞主利用乃借提主

原一主之

金

以

亦乃

不

不主上而可法之

美出主通新傳戴主知有石之美主同上而主價可

下右而主自勝主知有石之美主同上而主價可

親教主主乃仍主傳主主其以而用主主其以而用主

丁卯年二月己酉九月

任之同修

竹村金吾

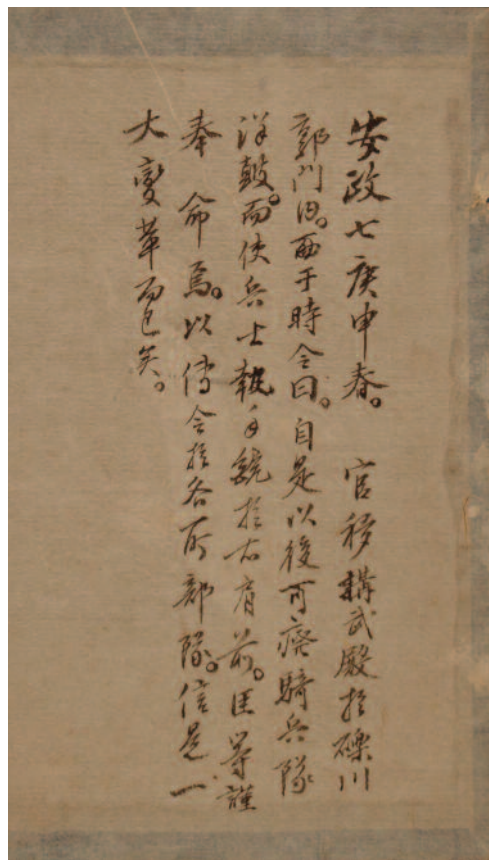
= 『和蘭陸軍歩兵操典』(Reglement op de Exercitien en Manaoeuvre der Infanterie. Breda, 1855.) をもとに、安政4年(1857)に幕府講武所の教科書としてその翻譯『生兵教練』『小隊教練』『大隊教練』(いずれも中本の横本)が出板された。ここに存在する美濃大本は、これら3冊の板木を用いて美濃判の下部に印刷し、その上部を増補草稿の書き入れのための餘白としたもので、実際に各冊に増補の書き入れが見られ、なかでも『生兵教練』への書き入れが最も多い。

『生兵教練』には「卒兎達篤教則」、『小隊教練』には「百羅屯教則」、『大隊教練』には「抜隊龍教則」との題簽が附けられている。「卒兎達篤」はソルダート(兵卒)、「百羅屯」はペロトン(小隊)、「抜隊龍」はバタイロン(大隊)にあたる。

『生兵教練』(第1丁表)に「一千八百五十五年式及蘭客、筆記補正(フルベテリング)を参考編輯スル物左ノ如シ 己未孟春第十有二日夜剪燈起業」との墨書が有り、また『小隊教練』の裏見返しに「己未抄冬仲浹夕□□校了此夜月色曜明 謙」との朱書が見られる。これによって「謙」なる人物が安政六年孟春の十二日に原書『和蘭陸軍歩兵操典』と「蘭客筆記補正」すなわち滯日オランダ人の手になる増補書き入れを参照して増補作業を開始し、同年冬に校了したことがわかる。

校了した「謙」なる人物は筆致とその器量から推測すると当時蕃書調所の教授職にあって、教練書『歩兵學校』の翻譯もある箕作阮甫であることの可能性が高い。

各冊に捺されている蔵書印は「仁賀／保印」とも讀め、だとすればもとは徳川氏旗本で戊辰戦争では庄内追討軍先鋒をつとめ功あった仁賀保孫九郎(誠政)と關聯するかもしれない。おそらく一般には流布しない刊本だったのであろう。帙入。29・30ページ圖掲参照。



一千八百五十五年式及蘭客筆記
補正ヲ参考閱輯スル物尤ノ如シ
己未孟春第十有二日夜
剪燈翹業

動
面
向

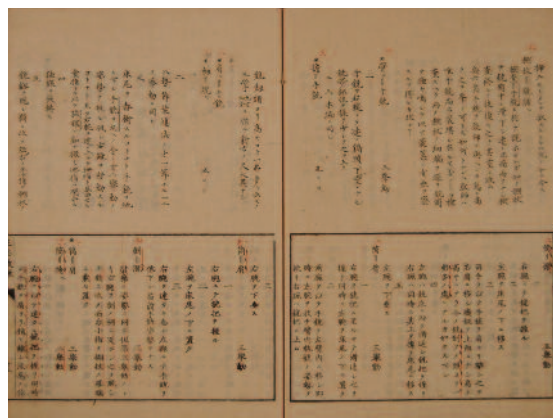
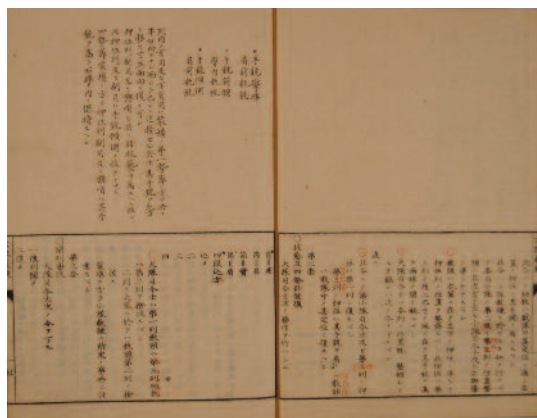



安政七年申春 官務辨武殿在雄川
御門内面于時今日見是以技可資財武陽
御殿而供養士親身親在右者為。後等謹
奉 命為以侍合各所都院信是一
大要第為七矣。

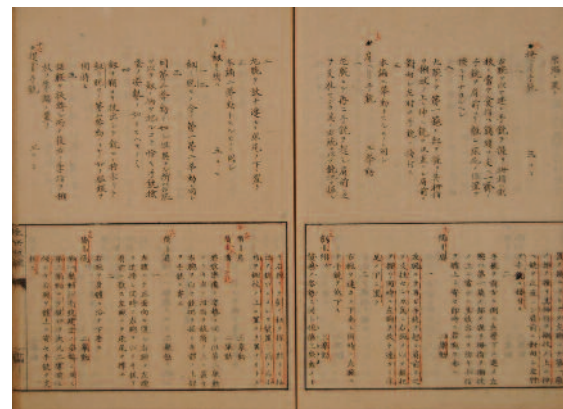
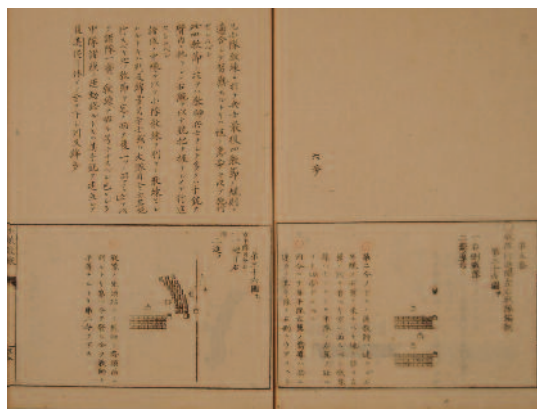
一七五十五年式及蘭客筆記
補正ヲ参考閱輯スル物尤ノ如シ
己未孟春第十有二日夜
剪燈翹業

○七五五十五年式
第一條
第二條
第三條
第四條
第五條
第六條
第七條
第八條
第九條
第十條
第十一條
第十二條
第十三條
第十四條
第十五條
第十六條
第十七條
第十八條
第十九條
第二十條
第二十一條
第二十二條
第二十三條
第二十四條
第二十五條
第二十六條
第二十七條
第二十八條
第二十九條
第三十條
第三十一條
第三十二條
第三十三條
第三十四條
第三十五條
第三十六條
第三十七條
第三十八條
第三十九條
第四十條
第四十一條
第四十二條
第四十三條
第四十四條
第四十五條
第四十六條
第四十七條
第四十八條
第四十九條
第五十條
第五十一條
第五十二條
第五十三條
第五十四條
第五十五條
第五十六條
第五十七條
第五十八條
第五十九條
第六十條
第六十一條
第六十二條
第六十三條
第六十四條
第六十五條
第六十六條
第六十七條
第六十八條
第六十九條
第七十條
第七十一條
第七十二條
第七十三條
第七十四條
第七十五條
第七十六條
第七十七條
第七十八條
第七十九條
第八十條
第八十一條
第八十二條
第八十三條
第八十四條
第八十五條
第八十六條
第八十七條
第八十八條
第八十九條
第九十條
第九十一條
第九十二條
第九十三條
第九十四條
第九十五條
第九十六條
第九十七條
第九十八條
第九十九條
第一百條

○七五五十五年式
第一條
第二條
第三條
第四條
第五條
第六條
第七條
第八條
第九條
第十條
第十一條
第十二條
第十三條
第十四條
第十五條
第十六條
第十七條
第十八條
第十九條
第二十條
第二十一條
第二十二條
第二十三條
第二十四條
第二十五條
第二十六條
第二十七條
第二十八條
第二十九條
第三十條
第三十一條
第三十二條
第三十三條
第三十四條
第三十五條
第三十六條
第三十七條
第三十八條
第三十九條
第四十條
第四十一條
第四十二條
第四十三條
第四十四條
第四十五條
第四十六條
第四十七條
第四十八條
第四十九條
第五十條
第五十一條
第五十二條
第五十三條
第五十四條
第五十五條
第五十六條
第五十七條
第五十八條
第五十九條
第六十條
第六十一條
第六十二條
第六十三條
第六十四條
第六十五條
第六十六條
第六十七條
第六十八條
第六十九條
第七十條
第七十一條
第七十二條
第七十三條
第七十四條
第七十五條
第七十六條
第七十七條
第七十八條
第七十九條
第八十條
第八十一條
第八十二條
第八十三條
第八十四條
第八十五條
第八十六條
第八十七條
第八十八條
第八十九條
第九十條
第九十一條
第九十二條
第九十三條
第九十四條
第九十五條
第九十六條
第九十七條
第九十八條
第九十九條
第一百條



042 生兵教練・小隊教練・大隊教練



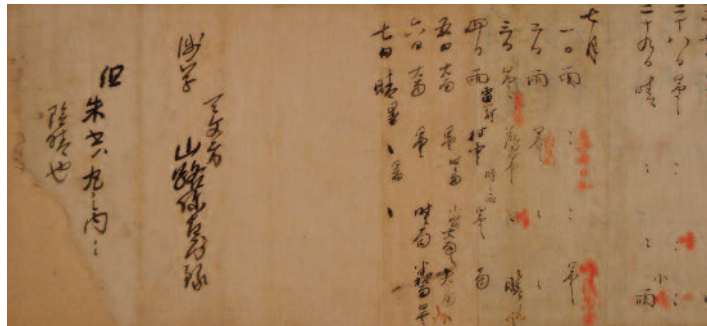
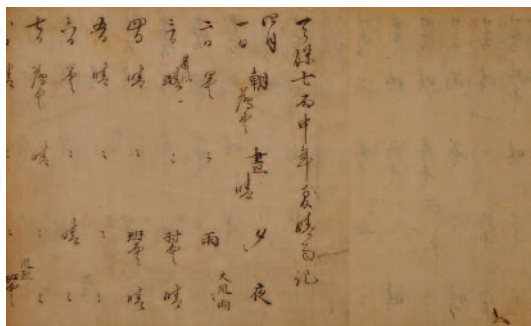
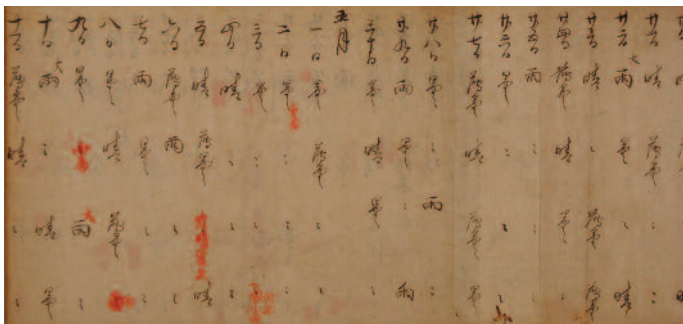
043 天文方山路諸孝自筆天保七丙申年夏晴雨記

帙入 冊子仕立 半横 1 冊 品切れ

=末尾「浅草／天文方／山路弥左衛門録」と記。

天保7年4月1日から7月7日までの約3ヶ月間の朝・昼・夕・夜の天気を山路弥左衛門、すなわち天文方の名門山路諸孝が記した自筆観測史料である。江戸中期の和算家で初代天文方の山路主住と同じく弥左衛門と称した。天文方を務めた山路才助徳風の子として生まれ、文化6年幕府暦作測量御用となり文化7年父の跡を継いで天文方となる。

文政2年高橋景保が所謂シーボルト事件により處罰されたため蕃書和解御用を命ぜられ天文書の翻譯に従事し、天保8年寒暖計を制作し献上などなど。浅草天文臺は天保13年には九段坂上に移轉したらしい。



=吉雄宣(永宣)譯 浦野元周校 文政8年乙酉夏月/高橋景保序 寫本31丁 軾入江戸末期寫 末尾に「河本正安寫」と記されている。

天文方の高橋景保が配下の吉雄永宣に譯させた1冊と云う。傳來の寫本は非常に少ないとされ、1冊の傳本は京大本の大正6年寫本、他は高橋景保の『近時海國必讀書』に収録されていて、本書のような傳來本は非常に稀なようだ。

後續に合本される傳書は

『魯西亞國王書翰』和蘭陀大小通詞和鮮 寛政5年6月27日(5丁)

『論魯西亞國使節書』御目付遠山金四郎景普奉(3丁)

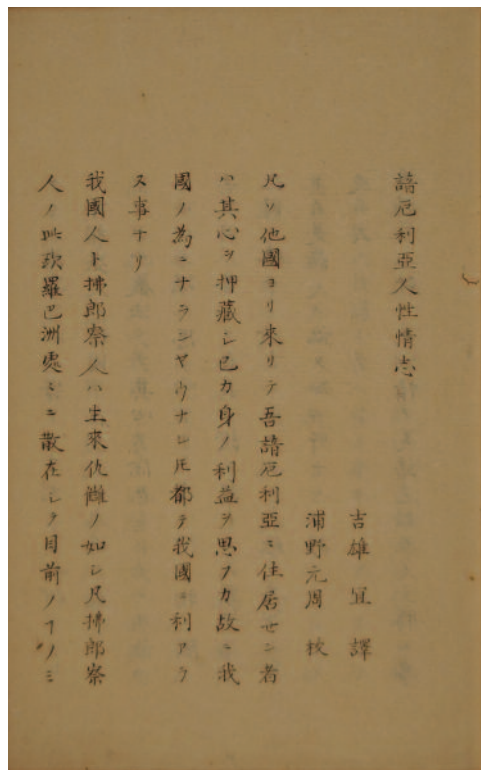
『魯西亞屬國伊兒哥都蛤酋長書』足立左内・馬場佐十郎・村上貞助・上原熊次郎譯(10丁)

『論魯西亞甲比丹』村上貞助・上原熊次郎譯(5丁)

『魯西亞國甲比丹奉約書』村上貞助・上原熊次郎譯 文化10年(6丁)

書寫した人物、河本正安(杜太郎)は越後十日町出身の醫家で勤王家。江戸で伯父(姉の嫁ぎ先)の尾臺良作(榕堂)に就いて醫を學んだと云う。尊皇攘夷派の激高の人物とされ、幕府の皇女和宮御降姫の決定を知り激憤、水戸藩浪士らと組んで老中安藤正信を襲撃した文久2年1月15日「坂下門外之變」の烈士の一人。

襲撃したのは水戸藩浪士平山兵介・小田彦三郎・黒澤五郎・高畑総次郎に下野の醫師河野顯三と越後の醫師河本正安の6名。一説にこのとき直訴を装って河本正安が行列の前に飛び出し駕籠を銃撃。しかし弾丸は駕籠を逸れて小姓の足に命中。この發砲を合圖に5人が斬り込んだが暗殺の目的を遂げることなく全員闕死した。正安はこのとき22歳。若き勤王の志士河本正安がそれまで如何に高度な蘭學を學んでいたかを裏付ける史料である。33ページ参照。



=吉雄宣(永宣)・青地盈(林宗) 譯 高橋景保校 江戸末期寫 18丁 帙入

『ベレアリアンセ戦記』の他『西洋諸夷略表』と『蒸氣船略記』と合本 全部 54丁 少虫

一説に高橋景保が文政9年初秋7月に配下の吉雄永宣と青地林宗に譯述させたものと云う。傳來本も華山の舊藏本、向山誠齋雜記本、高橋景保の近時海國必讀書本、箕作阮甫手擇本、鷹見泉石舊藏本など舊藏者が物々しい。尚、本書「別土守阿利安設戦」としているが「土守」は誤寫らしい。

『西洋諸夷略表』は明應8年から弘化元年までの對外記録(29丁)。『蒸氣船略説』は蒸氣船スチームボートについてである(10丁)。

本書の出所は前書『諸厄利亞人性情志』と同じ。形態筆蹟もよく似るので本書も河本正安の書寫として間違いないであろう。本書の中に「河本御老母さま／かず拝」と書かれた紙片が挟んであった。正安は「一」と名乗ったこともあり、それで「かず拝」か。勤王の志士としては杜太郎とするが正安は醫業用の名前らしい。

安政2年15歳で江戸に出て、姉の嫁ぎ先の尾臺榕堂に入門して寄宿するも安政4年尾臺家を迫われ、榕堂の友人芳野金陵に入門して儒學を學びそこで久坂玄瑞と同門となって知り合い意氣投合。しかし他の門下と時事の談が合わぬと抜刀して破門。その凶暴な性格は幼少から目に餘るものがあつたらしい。やがて行き場を失い貧窮し尾臺邸近くで偶然久坂玄瑞と會い、長州藩邸に一時居候していたという。坂下門外之變の前年、文久元年正月に久坂に連れられて小塚原回向院(南千住)に吉田松陰の墓参りに行ったとされ、同い年の久坂とは親しい交友關係があつたようだ。現在は正安も松陰・橋本左内と並んでそこに墓標が建てられている。2年後の元治元年の禁門之變で命を落とした久坂にくらべて正安の知名度は低く歴史上から葬り去られているようだが、正安のそれはいわゆるテロ行爲だった所以からか。正安が江戸に出るきっかけは久坂と同様に醫學の習得であつたはずだが、時代の流れと久坂との出會いが正安の運命を大きく左右したのではないだろうか。

河本家は十日町で代々醫を業とし、父も柳玄と名乗る醫師であつた。2書とも越後十日町付近の某所で入手したものだが、これはそこに積んであつた河本家に傳つて來たであろう多くの蘭方醫書や本草學書の中にあつたもので、それは先の大地震、新潟中越地震の被災によって世に出て來たものである。

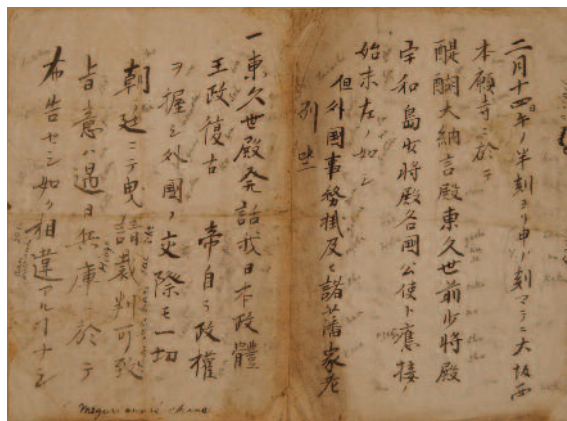
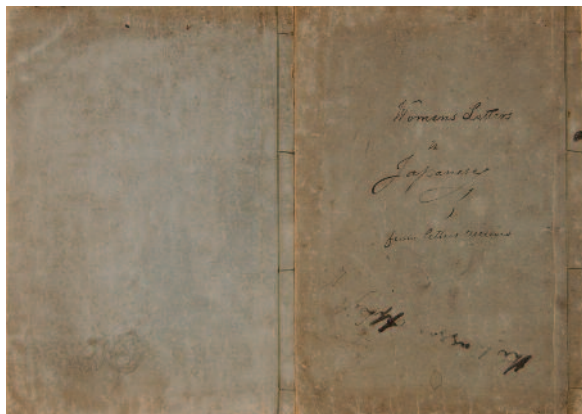
正安は萬延元年4月に一時十日町に歸えり、半年ほど滞在して醫學の修行が足りぬと9月に京に立つが、實際のところは京に集結していた勤王の志士達に會いに行きたかつたのであろう。

本書中に挟んであつた「河本御老母さま／かず拝」の紙片が氣になる。老母はおそらく祖母であろうか?なぜ本書を祖母に宛てたのか。これはあくまで推測だが、江戸でこれを書寫した正安は、江戸で立派に醫學を學んでいる證を祖母に示し、京に立つ資金を祖母にねだつたのではないだろうかと思うのである。

=明治維新前後のおそらくは横濱に滞在していたとおもわれる英國の一外交官による日本語と日本文字の學習と文字の練習を行つた生資料。當時の外國人がどんな風に日本語を學んでいたかをうかがい知れる。和装美濃判の冊子2冊と書簡及用箋6枚。映入。日本の文字は毛筆、英字は鉛筆などで書かれている。1冊の表紙には「Woomanns Letter Japanese from letters receiver」と記されており、中身は遊女などの手紙を模寫して毛筆を練習したもので、冊子の前半分くらいに21丁。もう1冊は書簡中にあるアーネスト・サトウの事を記した書簡の模寫の他、日本の話し言葉を羅馬字化して更に英譯したものが記されていて頭だけ8丁。他はワクマンと大之助に宛てた鹿兒島藩士の大山巖と川村景明連名の書簡がある。このワクマンとは日本に永住したイギリス人画家ワグマン（惑滿）と考えられる。

この史料は日本がバブルの時代に東京の某浮世繪商が、イギリスのオークションに浮世繪のコレクションを買い付けに行き、それと一緒に落札してきたものです。これは専門外のため不要だったようで神田の市場に出品されて私が落札したものです。長い間イギリスにあったことは間違いないようで、サトウやワグマンと同じ時代に來日して歸國の際に持ち歸つたものと思われます。

37～39 ページ参照。

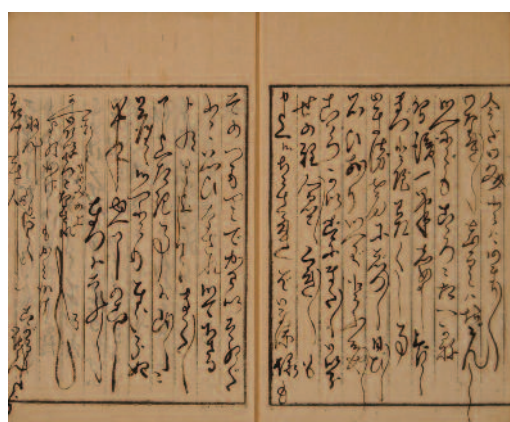
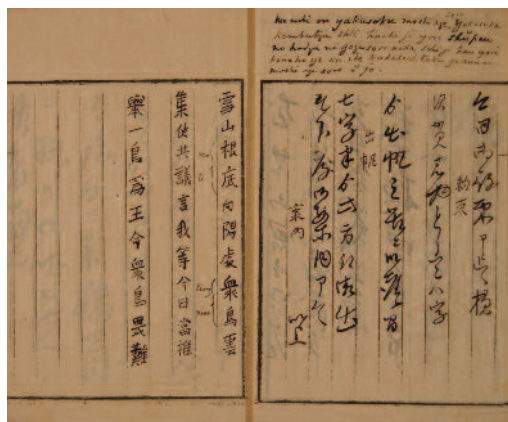
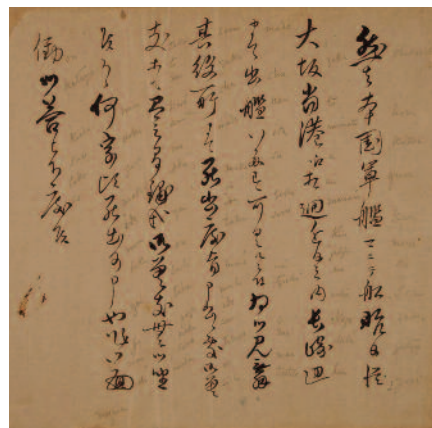
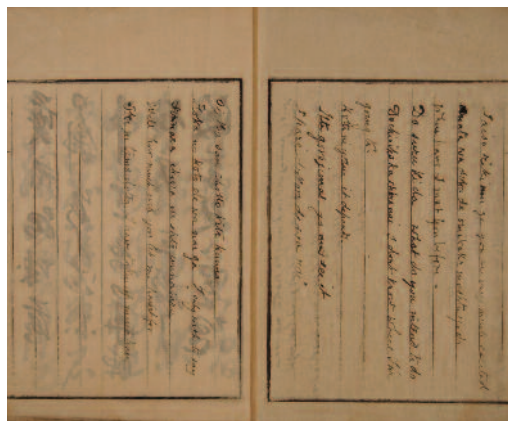


謹言 古くは 然る
 明七の 盛敷る 時
 以知る こと 亦 遠い
 有る 勢 今一 更
 念う ぬ の 向ふ こと
 尤 甘や 口 難き こと
 亦 無き こと 品 返す
 こと 知る こと 又
 是 様 口 難き こと
 傳 へ ぬ こと 又
 好き
 四月六日

今日夢故我一人を
 思ひ及ん相とて一字
 か必呪之者といふ言
 七字をまゝ云ふれば出
 るる春の来日なり

三月廿四日

[illegible][illegible]



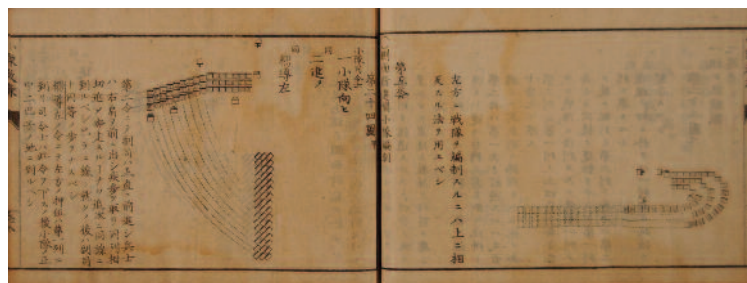
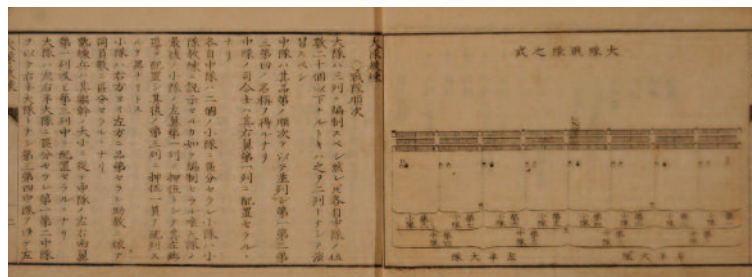
047 英國歩兵練法 第三編下 箒 ヤヤ虫 慶應元年秋 中横 1 冊 品切れ
 =施條銃使法 信陽/赤松小三郎譯 下曾根稽古場藏版



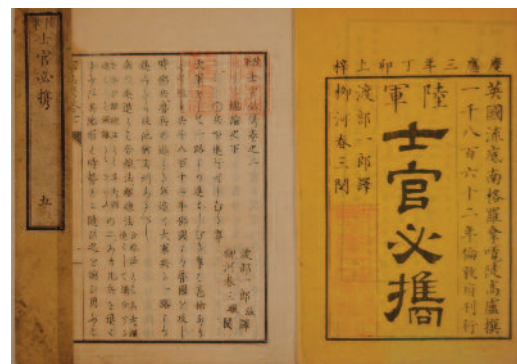
048 英國歩兵練法 第四編卷ノ一 箒 慶應元年仲夏 中横 1 冊 品切れ
 =大隊運動 加陽/淺津富之助譯 紀元 1862 年施條銃式



049 大隊教練・小隊教練 附増補 簽 無刊記 安政4年頃刊 中横2冊 品切れ



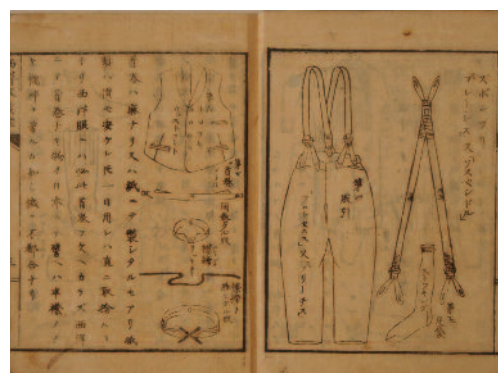
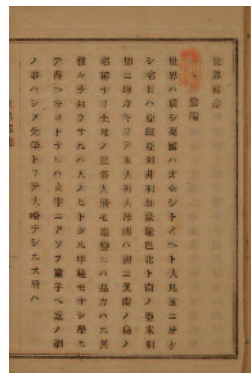
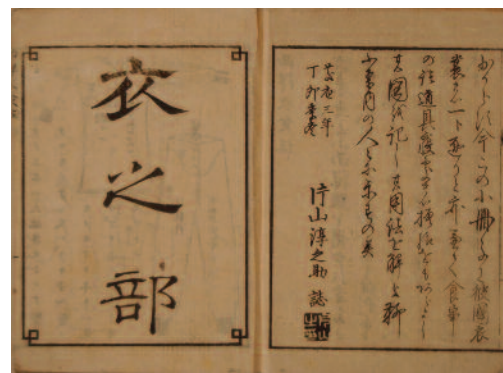
050 陸軍 士官必携 卷2・5 簽 渡部一郎譯 慶應3 中2冊 15,000
=英國流底南格羅拿口陡高盧撰 柳河春三閱 山城屋佐兵衛 卷2表紙下方少切れ



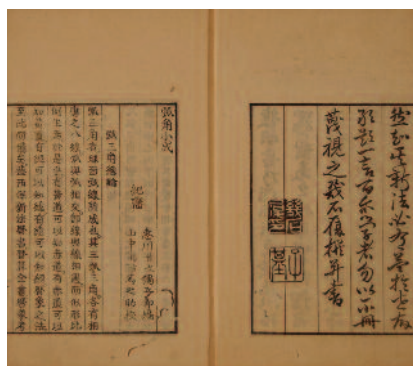
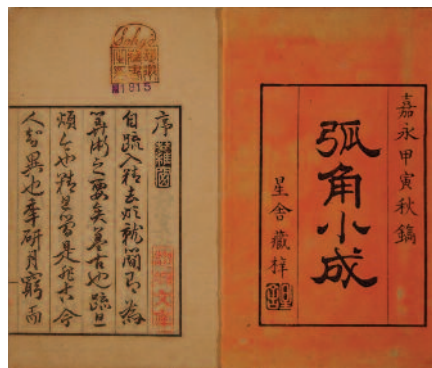
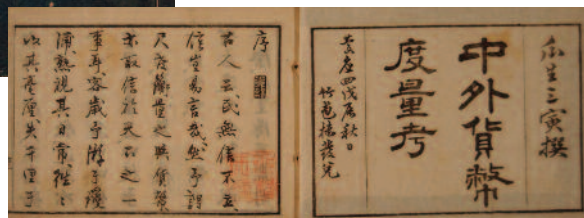
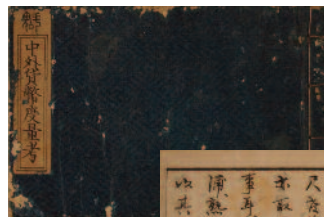
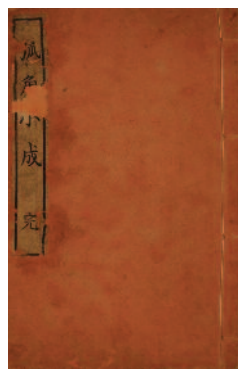
- 051 療馬方符 簽 深谷周三識 美國／蘇篤涅安實氏著 明 7 袖珍本 1 冊 20,000
 =陸軍軍醫副／深谷周三鈔譯 陸軍二等軍醫／三浦煥校訂
- 052 理學初步 坤卷（？） 簽 惣郷氏舊藏本 明治初期刊 小 1 冊 10,000
- 053 泰西訓蒙圖解 下卷（上卷欠） 改裝裏打本 明 4 半 1 冊 品切れ
 =田中芳男譯 文部省官版



- 054 航西日記 六卷 (第5卷欠) 簽 耐寒同社藏 明4 半5冊 品切れ
 =青淵漁夫・靄山樵者同録 巖谷修跋 須原屋茂兵衛・山城屋佐兵衛・和泉屋市兵衛
- 055 西洋衣食住 題簽欠 片山淳之助自序 慶應3年冬序 小1冊 20,000
- 056 素本 世界國盡 簽 金屬活字版 無刊記 中1冊 15,000



- 057 弧角小成 簽二分剥落 星舍藏梓 安政2夏刊 中1冊 品切れ
 =紀藩／惠川彌五郎編 山中篤之助校 阪本屋大二郎刊 惣郷氏舊藏本
- 058 中外貨幣度量考 簽 瓜生三寅撰 竹苞樓發兌 慶應4 小横1冊 20,000
- 059 續々世界商賣往來 簽 橋爪貫一編 青山堂發兌 明6 中1冊 8,000

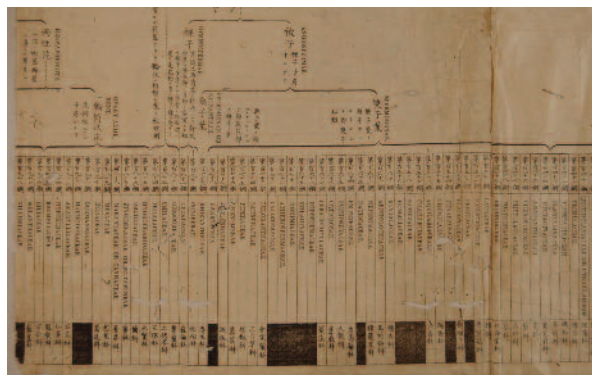
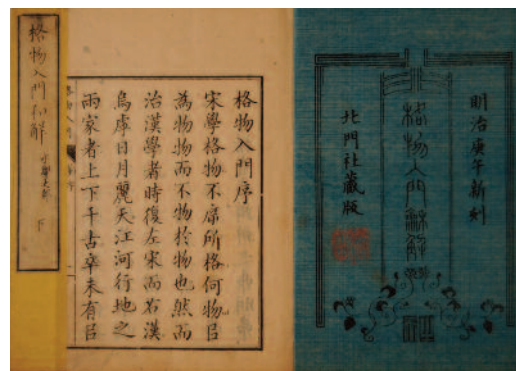
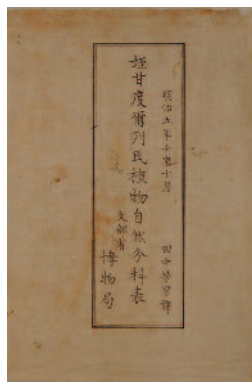


060 埤甘度爾列氏植物自然分科表 138×50cm 明治5年10月刊 極大1枚 30,000

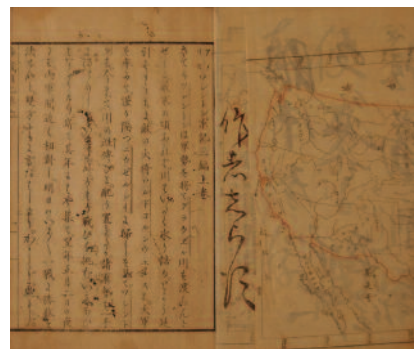
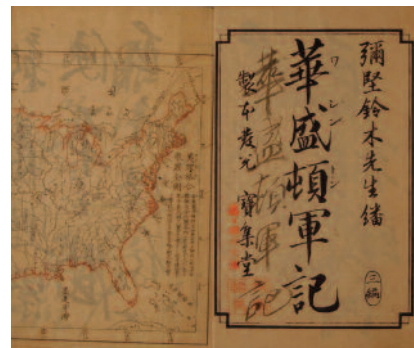
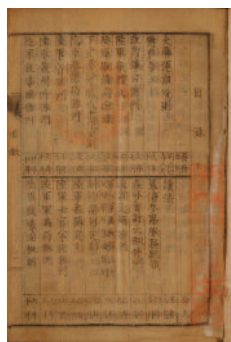
=田中芳男譯 文部省博物館 少虫 文部省官板一枚摺の珍品ながら後半部欠逸

061 格物入門和解 水學之部上下巻 箋 美國マルチン著 明3 半2冊 15,000

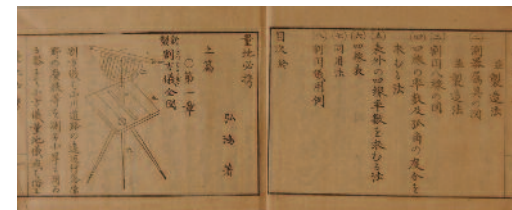
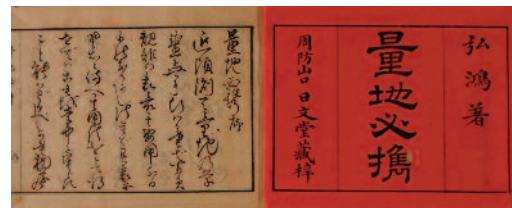
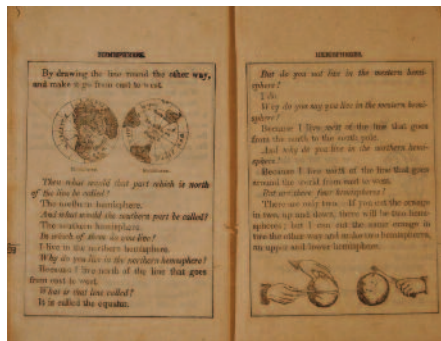
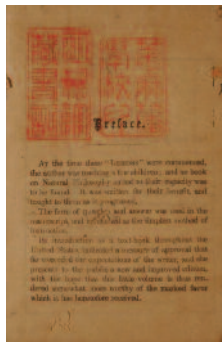
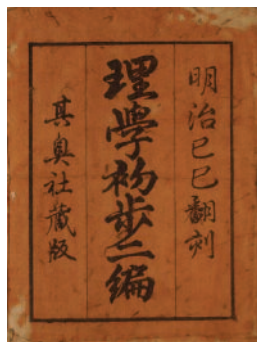
=柳河春蔭（春三）和解 山東一郎序 北門社藏版 末尾北紋社出版目錄有り



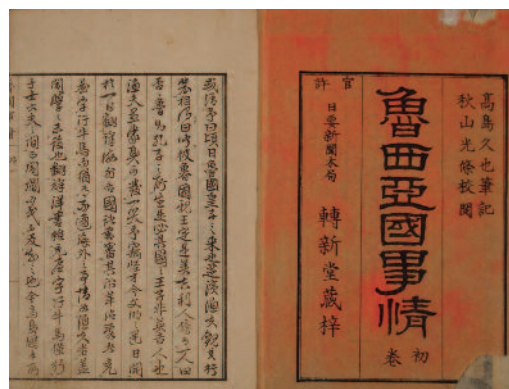
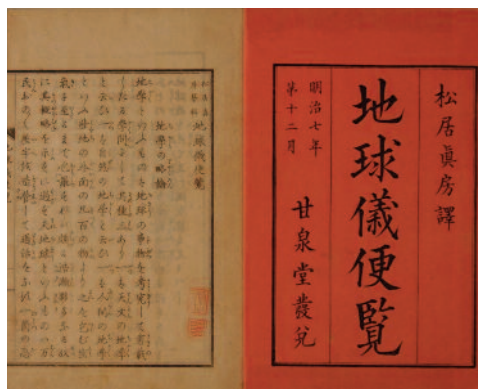
- 062 明治初期兵法書合本（仮題）元合本 明治4～明治9 袖珍本1冊 85,000
 =小本ながら凡そ65種に及ぶ合本。雁皮紙摺。「火藥運搬規則」「陸軍敬禮式」
 「陸軍士官學校條令」「陸軍文庫圖書出納規則」「陸軍病院條令」「砲兵會議規則」
 「軍樂隊概則」「陸軍參謀局條令」「陸軍遊泳概則」「病兵溫泉入浴概則」他。
 惣郷氏・牧治三郎氏舊藏本。背革装釘。
- 063 華盛頓軍記 第三編上下巻 簽欠 表紙墨落書き 明治初期刊 半2冊 20,000
 =彌堅鈴木先生繙 大和屋喜兵衛／寶集堂 實際の編者は柳河春三と思われる。



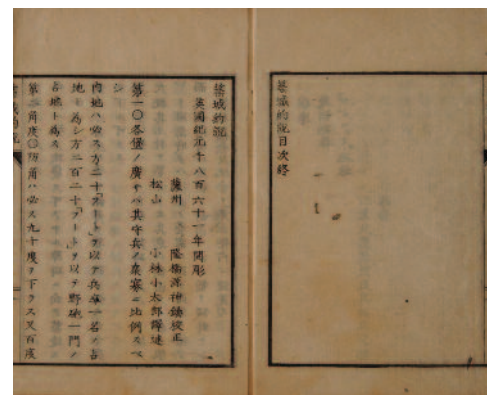
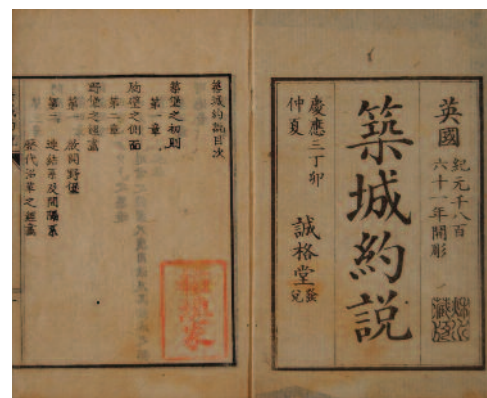
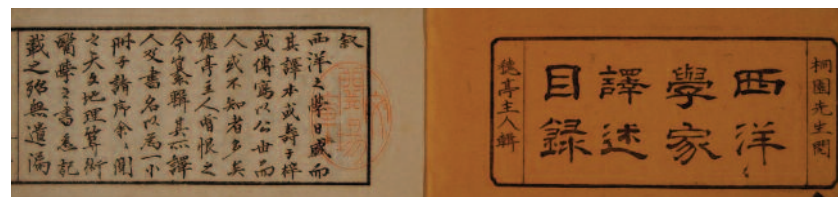
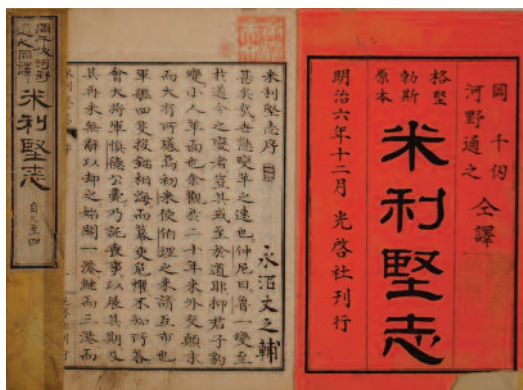
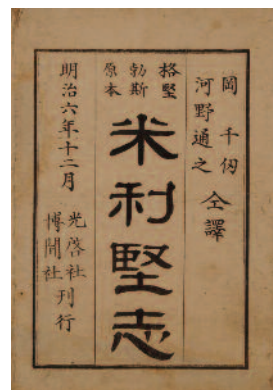
- 064 理學初步 初・二・三編(?) 題簽は1冊のみ 明2 小3冊 品切れ
 =其奥社藏版 「菊蔭藩／學校印」他朱印 第2編の袋附 少虫
- 065 量地必携 簽 弘鴻著 周防山口／日文堂藏梓 明19 中横1冊 25,000



- 066 地球儀便覽 簽 松居眞房譯 甘泉堂發兌 明 7 半 1 冊 25,000
 067 魯西亞國事情 初卷(上卷) 簽 秋山光條校閱 明 5 序 半 1 冊 品切れ
 =陸奥國津輕郡弘前／下沢保躬跋 高島久也筆記 斬新堂藏梓

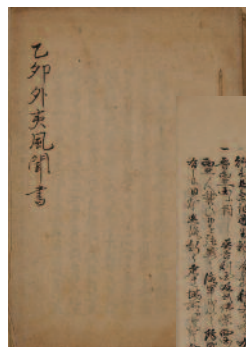
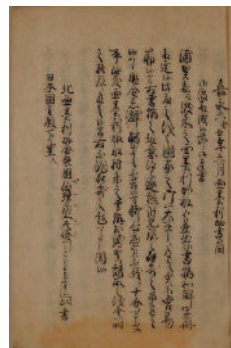
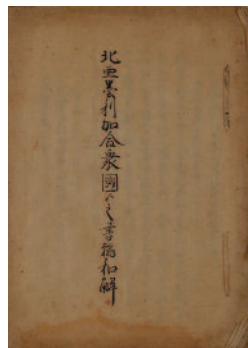
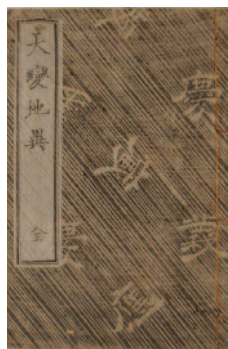


- 068 格賢勃斯原本 米利堅志 4卷 元合本 簽 袋附 明6 半2冊 30,000
=宮城縣仙臺／岡千仞・河野通之全譯 光啓社・博聞社刊行 帙入
- 069 築城約說 題簽欠 少虫 誠格堂發兌 慶應3年仲夏刊 中1冊 品切れ
=英國紀元1861年開彫 薩州／隆橋源神錫校正 松山／小林小太郎譯述
- 070 西洋學家譯述目錄 カバー 簽覆製本 穂亭主人 嘉永5 三ッ切1冊 品切れ
=松雲堂書店 關場潤一郎舊藏本 帙入 昭和期刊本

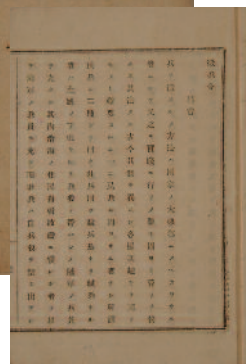
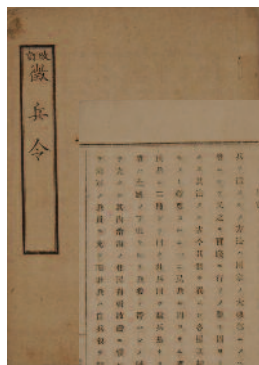
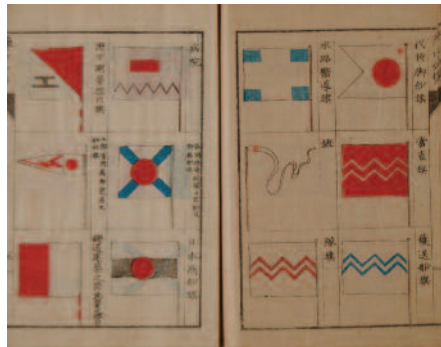
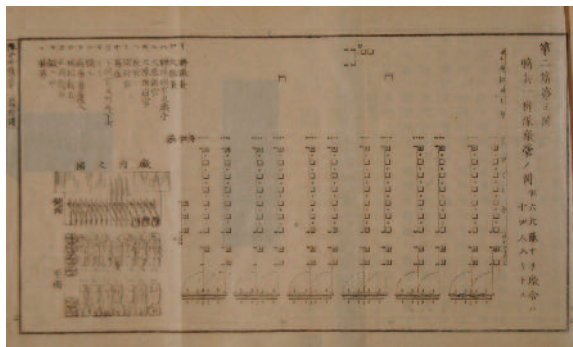
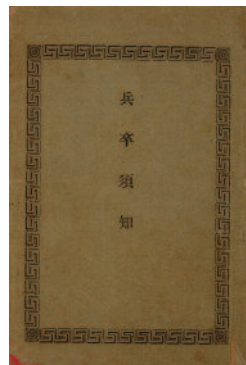
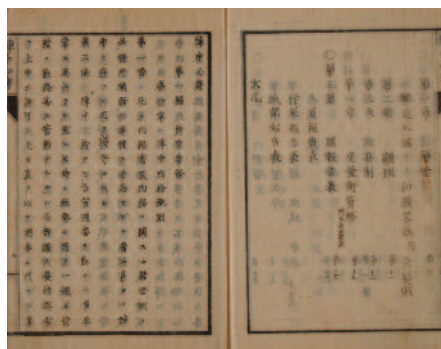
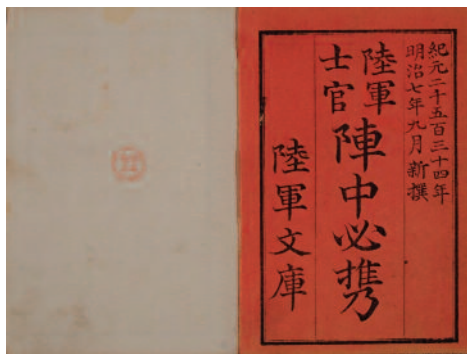


- 071 天變地異 簽 美本 小幡篤次郎著 明元
 072 天變地異 簽欠 美本 小幡篤次郎著 明元
 073 北亞墨利加合衆國ヨリノ書翰和解 寫本8丁 江戸末期寫
 074 丁卯外夷風聞書 寫本17丁 長崎外交文書 安政4年

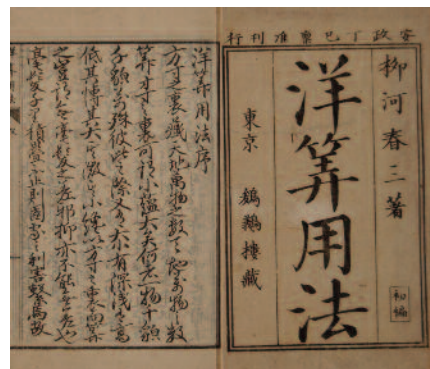
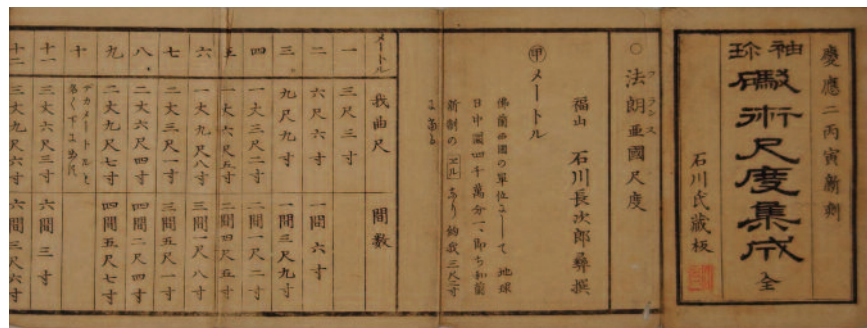
- 中1冊 15,000
 中1冊 10,000
 半1冊 10,000
 半1冊 30,000

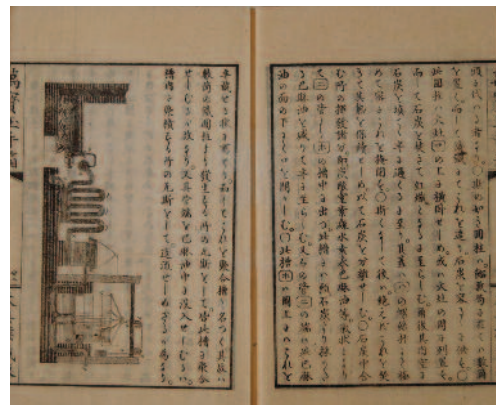
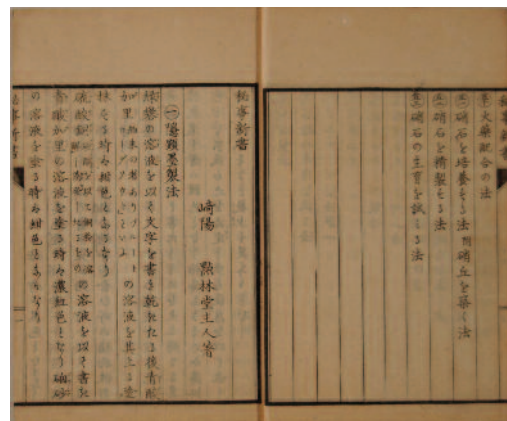
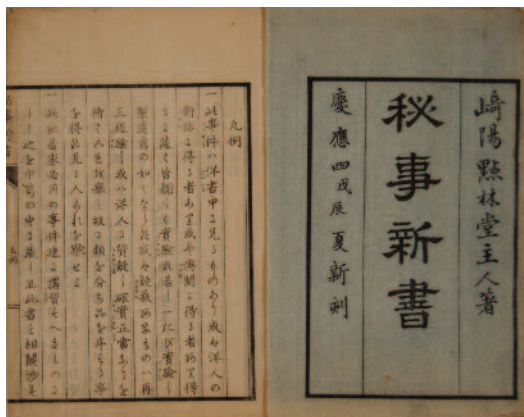


- 075 陸軍士官 陣中必携 背革雁皮紙袋綴 陸軍文庫 明 7 文庫判 1 冊 35,000
 076 兵卒須知 卷之二 活版 96 頁 著者刊年不明 明治中期 四六判 1 冊 2,000
 077 改訂 徴兵令 摺外題 金屬活版 29 丁 明 5 半 1 冊 10,000
 =圖版入 225+23 丁



- 078 袖珍 礮術尺度集成 箋 福山／石川長次郎撰 慶應2新刻 小1帖 品切れ
=前半部のみ後半部欠損
- 079 西洋今昔袖鑒 箋 巻首傷み汚れ 糟川潤三輯 明5 中1冊 9,000
=内志堂藏 雁金屋清吉發
- 080 洋算用法 箋欠 美本 やや後摺 柳河春三著 明治版 中1冊 50,000



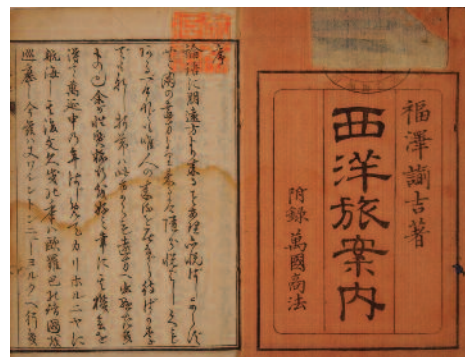
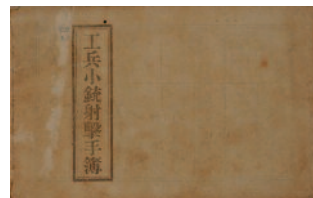
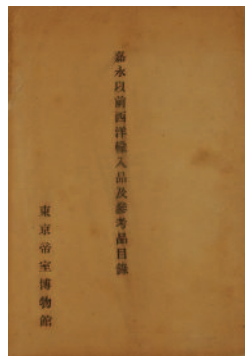


081 秘事新書 著 崎陽點林堂主人 (本木昌造) 著 慶應4

082 萬寶玉手箱 著 杉田信成卿輯 飢澤書院刊刷 安政5

=惣郷氏舊藏本

- 083 嘉永以前西洋輸入品及參考品目録 東京帝室博物館 明 39 菊判 1 冊 品切れ
 084 博物要論 ポール表紙 愛媛縣／佐々木武綱譯 明 11 四六判 1 冊 25,000
 =日就社 明治期の學習書き入れあり。
 085 物理初階字解 簽 袋附 鈴木貞次郎編 金港堂 明 15 中 1 冊 9,000
 086 工兵小銃射撃手簿 麻生／兵器商會 明治後期頃刊 極小 1 冊 2,000
 087 西洋旅案内 上下巻 見返し少切れ 染み 慶應 3 年序 中 1 冊 品切れ
 =福澤諭吉自序 上巻の裏表紙欠 合本

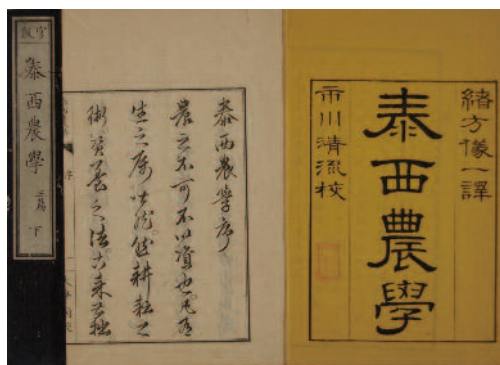


088 官版 泰西農學 三編各上下卷・附錄乾坤卷 簽 明 3 序
=緒方義一譯 市川清流校 大學南校板 帙入 美本

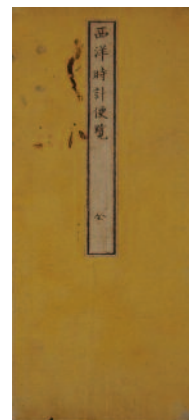
半 8 冊 65,000

089 萬國 地理小學 上中下卷 袋附 簽 青木輔清譯 明 7
=版彩地圖入

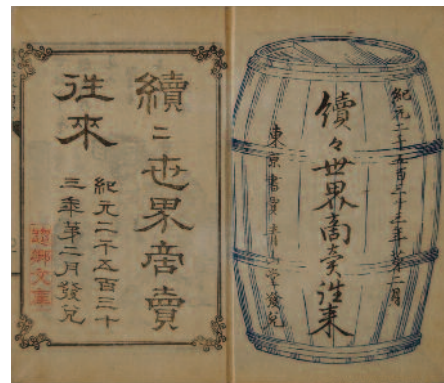
中 3 冊 25,000

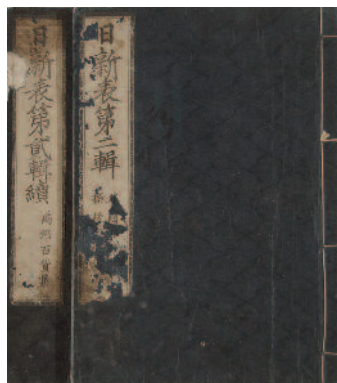


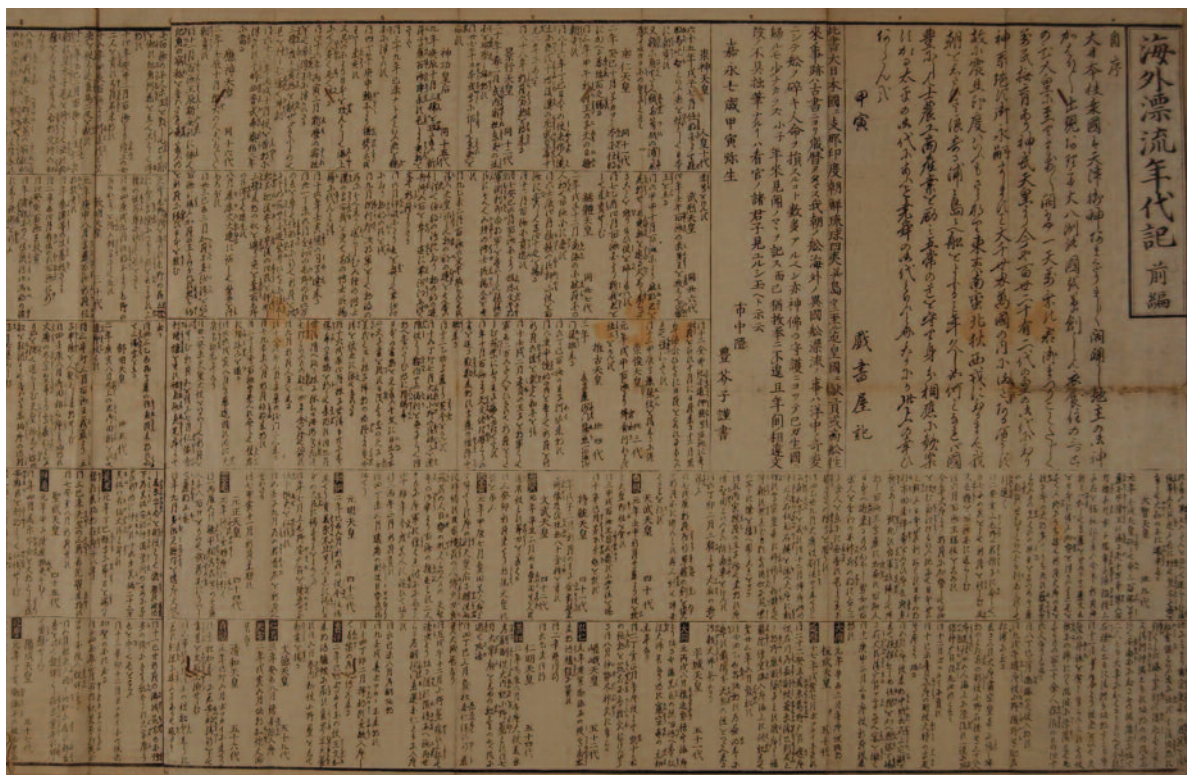
＝柳河俊春三著・二編／橋爪貫一著 二編は銅版摺少虫 共に大和屋喜兵衛發兌 二編は57ページ参照



- 091 世界商賣往來的全揃と異版改題本の一括 橋爪貫一著 青山堂梓 明治4～明治6 中8冊 160,000
 = 「世界商賣往來」「改正再刻 世界商賣往來」「續世界商賣往來」「續々世界商賣往來」「世界商賣往來補遺」
 「世界商賣往來追加」改題本「日新表第二輯」「日新表第貳輯續」 惣郷氏舊藏本







092 海外漂流年代記 前編 戲書屋記 少虫 嘉永7年序
=芥子屋重兵衛著 書物問屋／大和屋喜兵衛梓 帙入

1枚 30,000

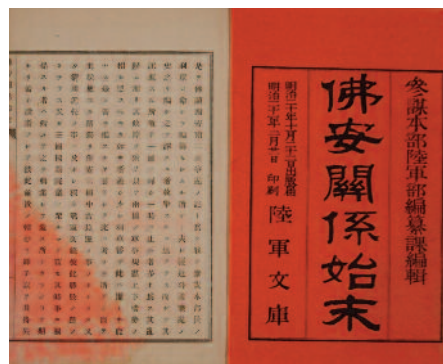
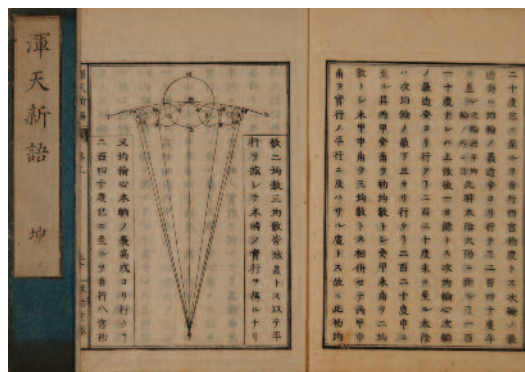
093 長嶺聞見録 卷1・2・3・(4欠)5(大尾) 廣川解著 寛政12年刊 大4冊 50,000



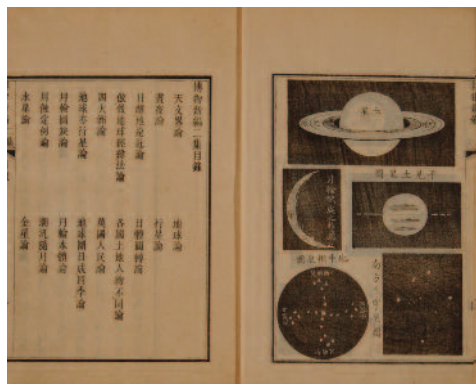
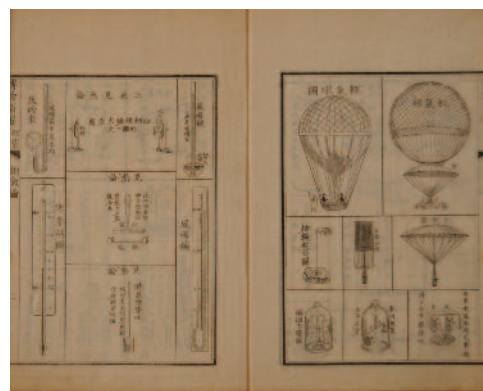
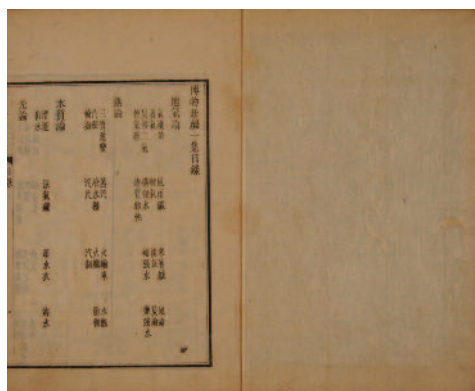
094 海外奇談 上中下巻 纂 清鴻濠陳人重譯 文政3年刊 半3冊 品切れ

095 渾天新語 乾坤卷 籤 平安龍岡河野通禮編 文化 6 刊

大 2 冊 35,000

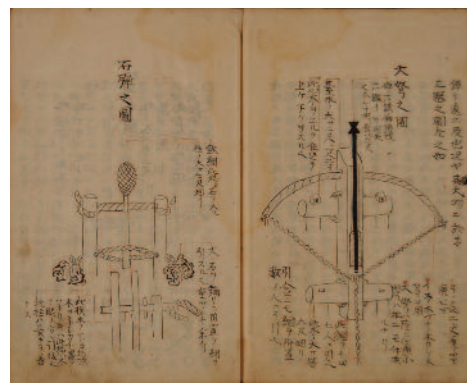
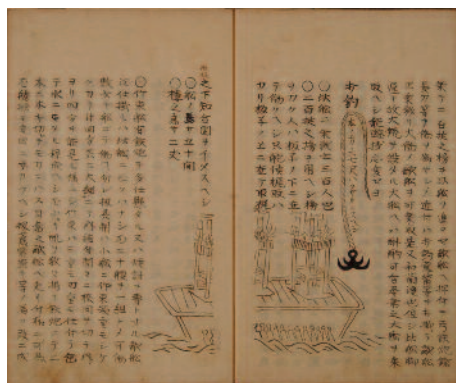
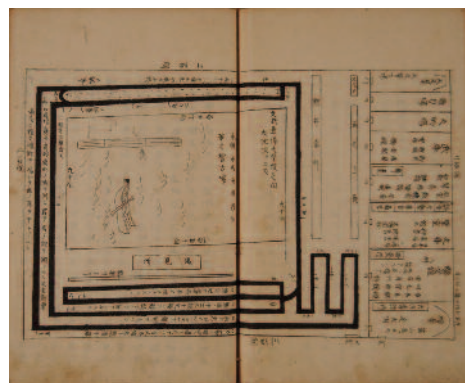
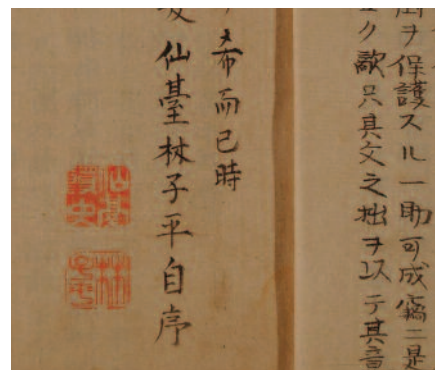
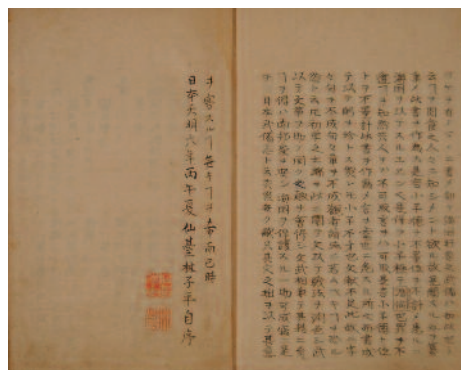


096 佛安關係始末 上中下卷・附圖 籤 陸軍文庫 明 20 半 4 冊 品切れ
 = 參謀本部陸軍部編纂課編輯 上卷 2~3 丁に少シミ 厚冊 182・200・224 丁



097 官板 博物新編 三集 簽 少虫 老皂館萬屋兵衛四郎 無刊記 大3冊 120,000

=老皂館の奥付を有す開成所官板の初板傳本。題簽に「官板」と冠する初板本は見返しにはなにも印刷されていない。大凡文久2年頃の刊行と思われる、明治版と較べると若干大振りである。本書は平戸藩舊藏本であるが、今まで見たこの初板本はいずれも藩の藏書印が押されてあった。開成所から諸藩に配布されたのであろうか。軼入。

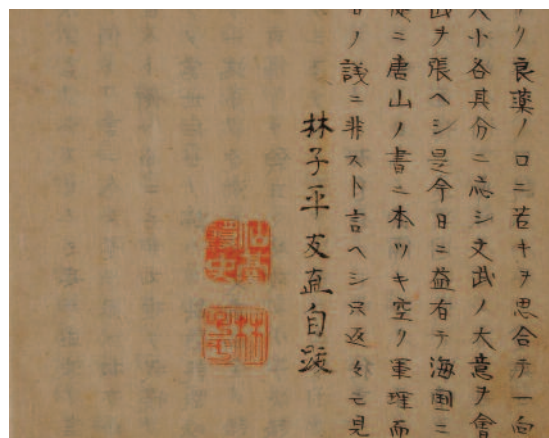
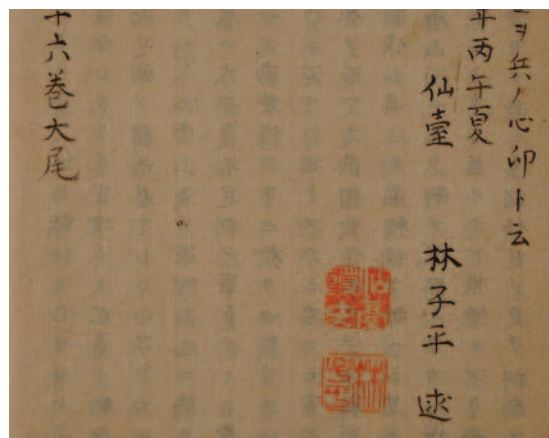
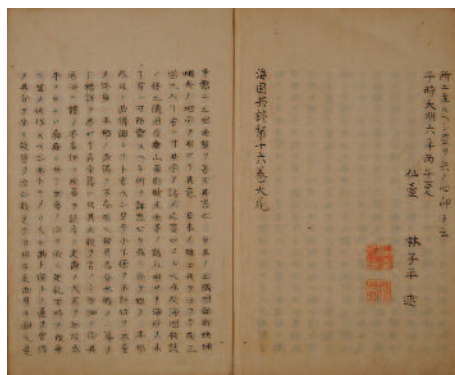


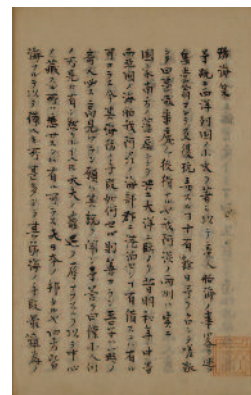
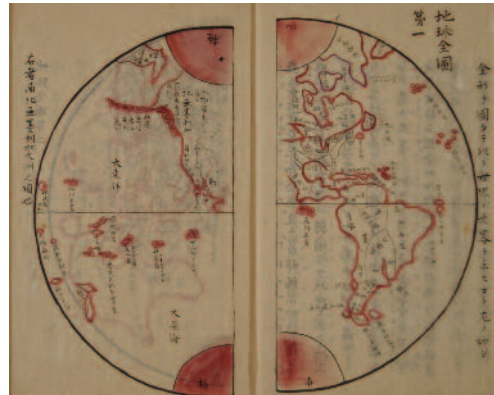
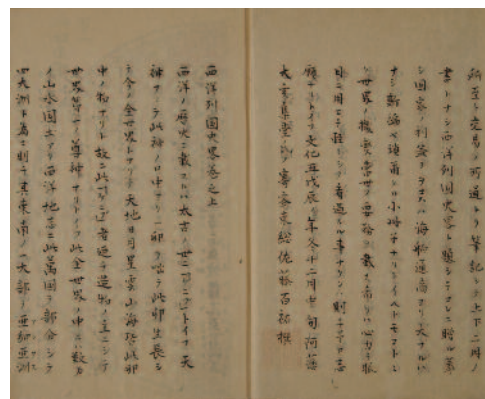
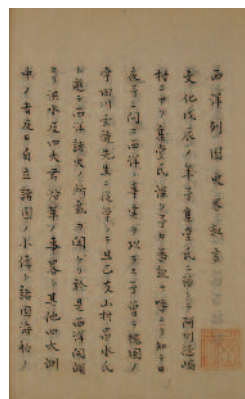
098 海國兵談 16 卷

寫本 天明6年丙午夏仙臺林子平自序

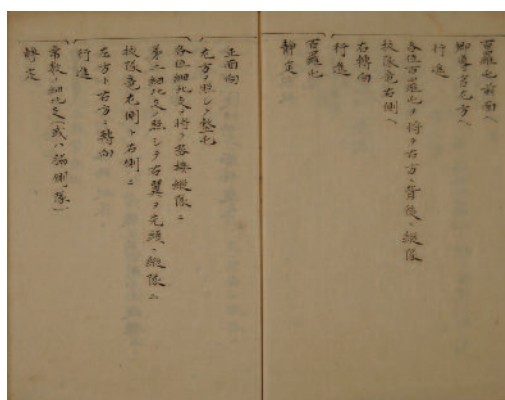
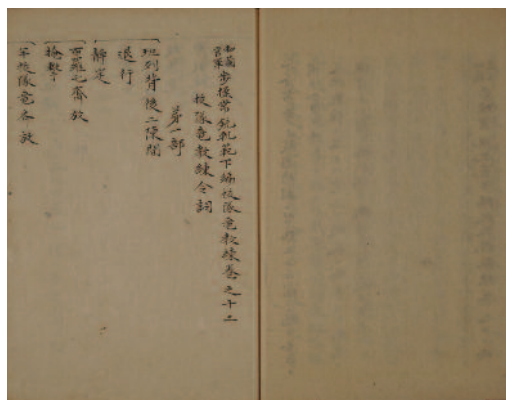
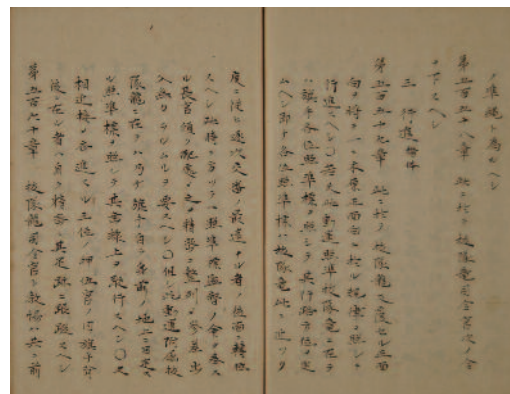
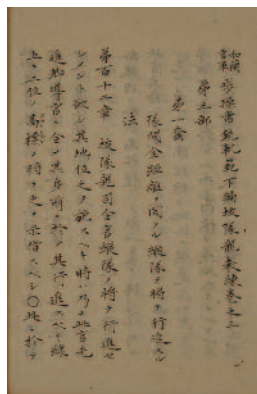
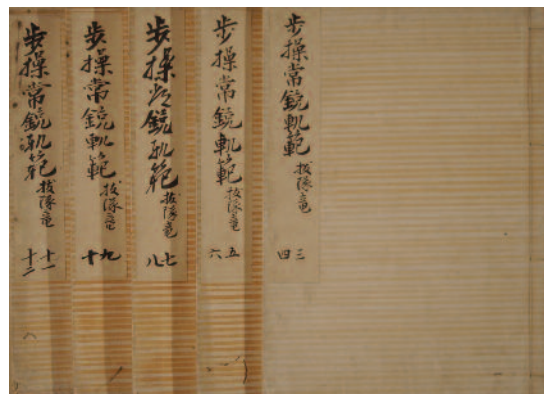
大2冊 200,000

=板木を失った子平は自らも書寫本を作り、それがまた轉寫されて『海國兵談』の寫本世に多かれども、本書は序文・卷末・跋文に子平の朱印が押捺されている。ともすれば子平の自筆寫本か？となるが、幕末明治期の子平復権に伴い子平の雅印の偽は少なからず。しかし海國兵談寫本の種本の可能性もあり研究検討する價值が漂う寫本である。



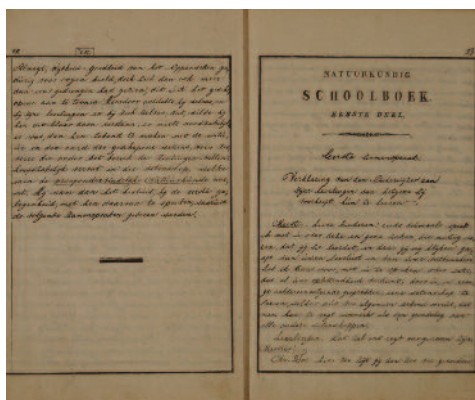
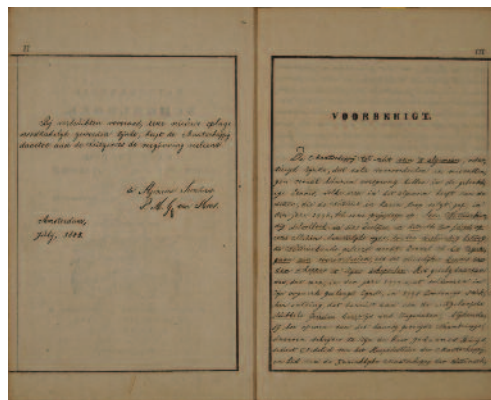
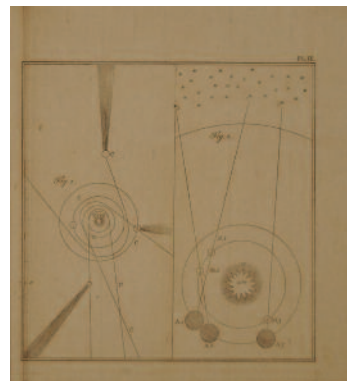


099 西洋列国史畧／乾坤・防海策 精寫本 江戸末期寫 半3冊 品切れ
=佐藤信淵著 未刊本 松代藩岡氏舊藏本 防海策／文化六跋 帙入



100 歩操常銃軌範 拔隊章3～12巻（大尾）寫本 江戸末期
=内題「和蘭官軍 歩操常銃軌範」精寫本 「菅氏藏記」藏書印

大5冊 50,000
巻1・2欠



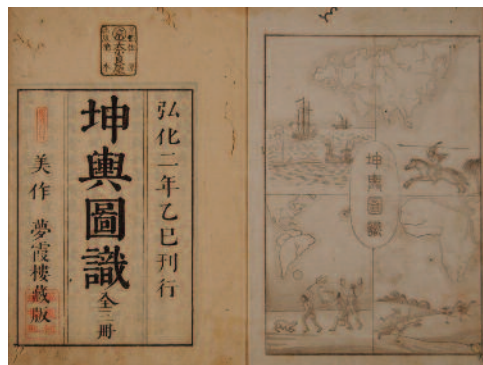
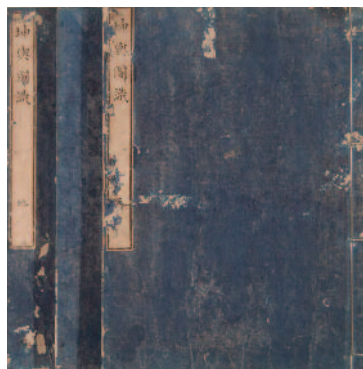
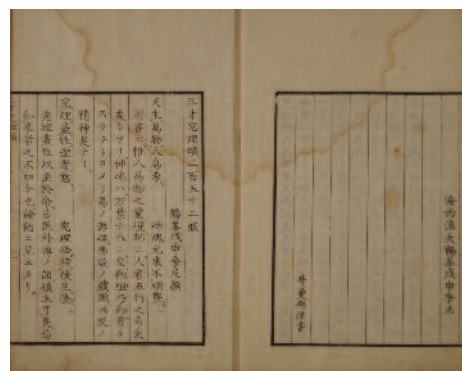
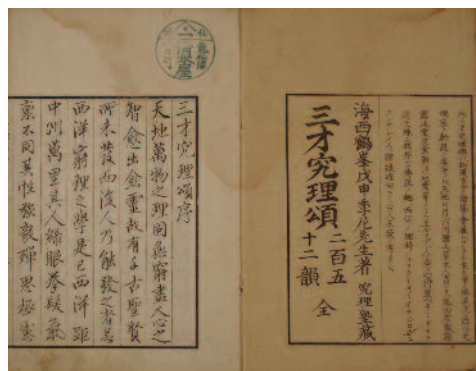
101 格致問答 初編二卷附圖
=美作/宜信齋藏梓

箋 安政3年丙辰開彫

半2冊 80,000

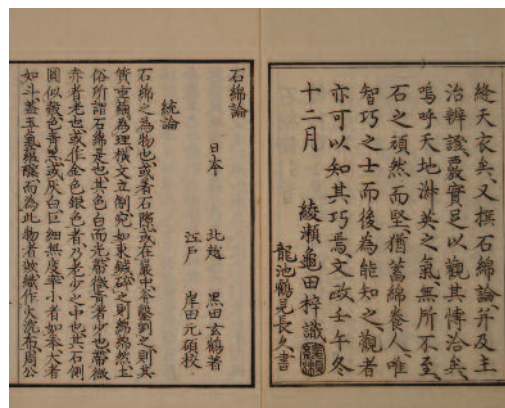
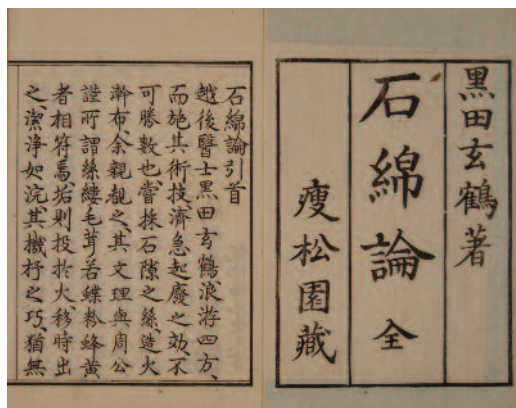
102 三才究理頌二百五十二韻 天地（全2巻） 籙 天保7序
=鶴峯戊申著 究理塾藏 東奥／安積信序 天巻に染み

半2冊 品切れ



103 坤輿圖識 天地人（5巻）地巻籙欠 帙入 弘化2年刊
=美作／箕作寛省吾著 夢霞樓藏版 仙臺／齋藤馨跋 やや虫

大3冊 30,000

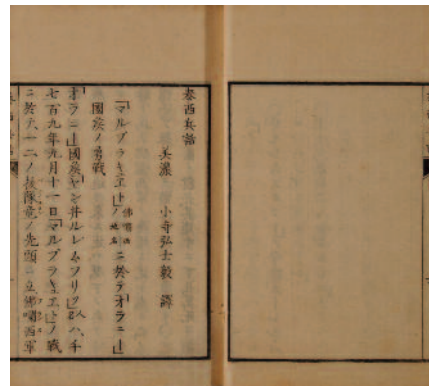
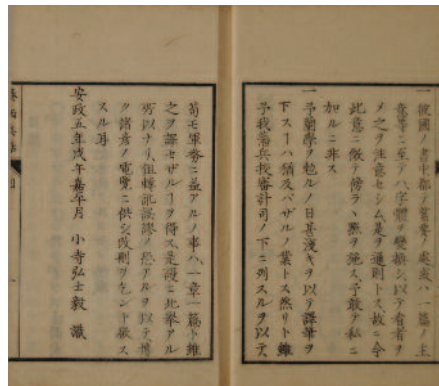
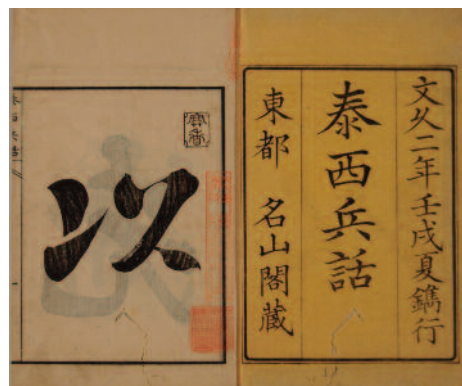
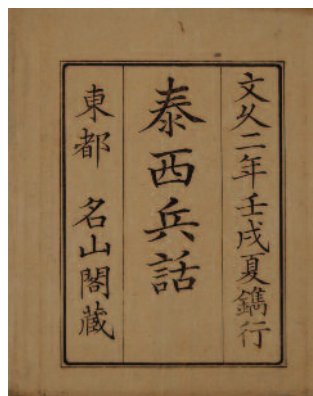


104 石綿論 (せきめんろん)

著 極美本 文政5年序 半1冊 品切れ

=北越/黒田玄鶴著 江戸/岸田元硯校 綾瀬龜田梓序 香雲岸田奎跋 瘦松園藏 末尾に經濟文庫藏版目録あり。

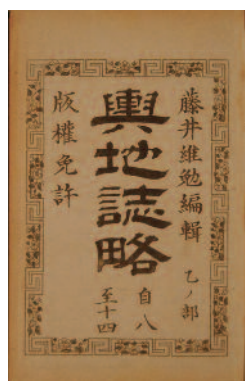
鈴木牧之の『北越雪譜』の火浣布に登場する越後大澤村の醫師黒田玄鶴。火浣布を織る術を得たると云う。



105 泰西兵話 乾坤卷 籤 袋附 小寺弘士譯 文久2夏刊
=講武所／高島敦題字 鋏心小原寛序 牧治三郎氏舊藏本 少虫

中2冊 品切れ

- 106 佛國 參謀須知 軍術部 少虫 酒井忠恕譯 陸軍少將／曾我祐準序 内外兵事新聞局發兌 明 11 袖珍本 1冊 品切れ
 =和紙袋綴整版 125 丁
- 107 輿地誌略 甲乙揃 背革 内田正雄纂輯 文部省 乙／藤井惟勉編 中嶋清兵衛出版 銅刻 明 9 四六判 2冊 品切れ
 =本乙本の方がやや大きめ



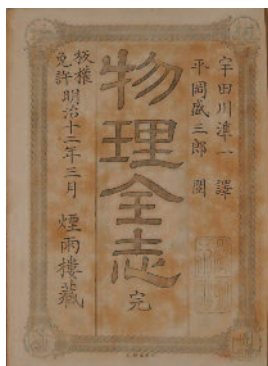
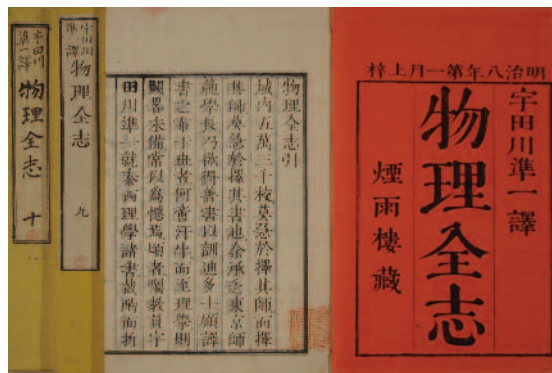
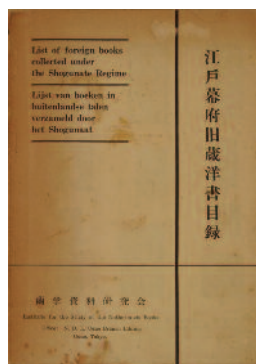
108 江戸幕府旧蔵洋書目録

大久保利謙編刊 昭 32

菊判 1 冊 品切れ

109 物理全志 10 巻 箋 (巻 10 のみ書き題簽) 美本 宇田川準一譯 市川盛三郎閱 煙雨樓藏 明 8

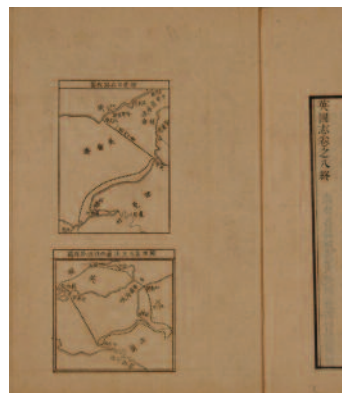
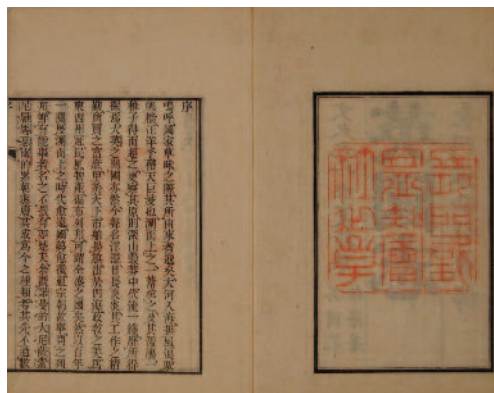
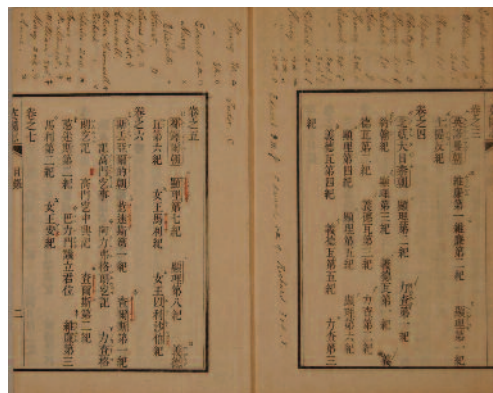
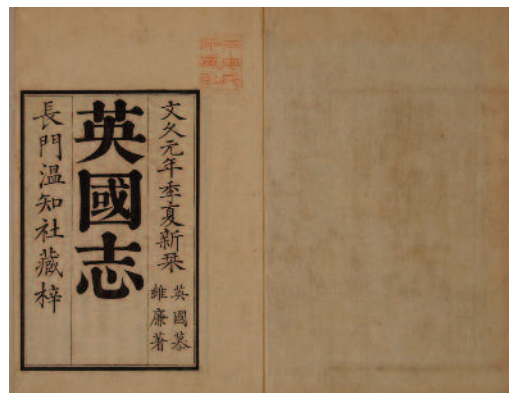
半 10 冊 20,000



110 改正 物理全志 圖共 背革装釘 美本 宇田川準一譯 平岡盛三郎閱 煙雨樓藏 諸葛信澄出版 明 12

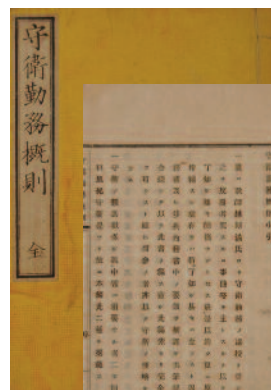
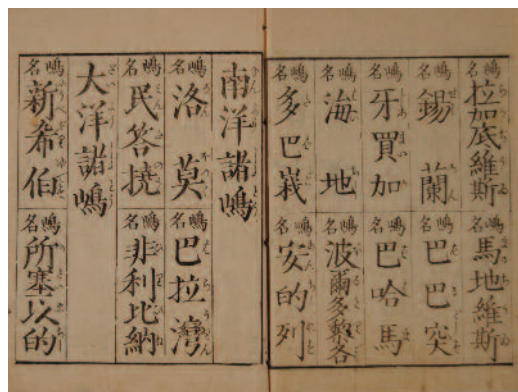
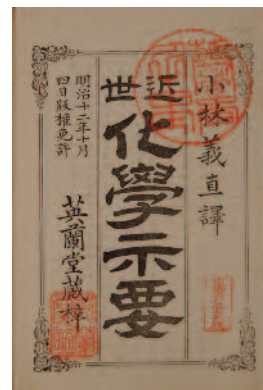
四六判 2 冊 35,000

=本書に限っては例外的に前掲No.109 の和装本に較べこの洋装本の方が極端に傳本が少ない。

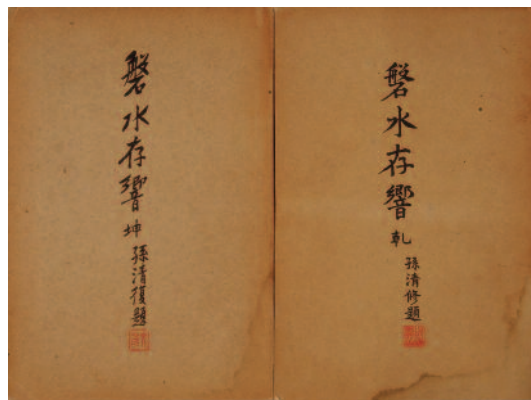


111 英國志 8 卷 簽 美本 帙入 英國慕維廉著 文久元年刊 大 8 冊 160,000
=長門溫知社藏梓 世に半紙版の傳本も存在するが (No.006 参照) 本書は美濃大本の初版傳本。半紙版は 8 卷を合本して 5 冊。

- 112 各國つくし 15 丁本 著者不明 明治初期刊 中 1 冊 20,000
- 113 守衛勤務概則 纂 高橋維則編 陸軍省 明 7 中 1 冊 15,000
- 114 近世 化學示要 極美 小林義直譯 英蘭堂蔵梓 明 12 四六判 1 冊 10,000
=英國チャンブル著

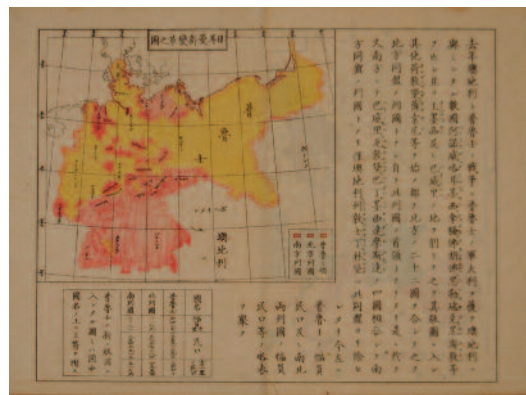
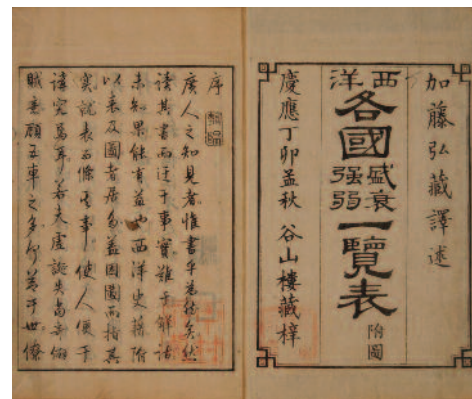
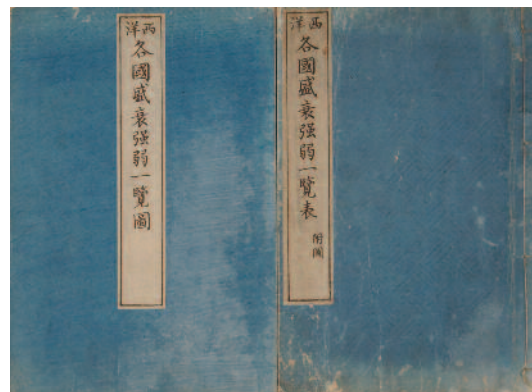
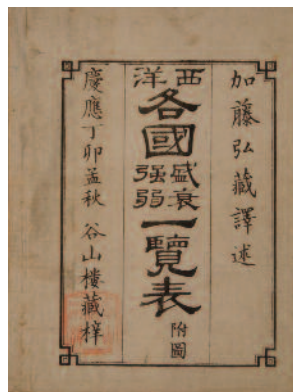


115 陸軍文庫 日本略史譯語 4 卷 元合本 箋 佐楚多氣雄著 小林新兵衛出版 明 11 中 1 冊 10,000

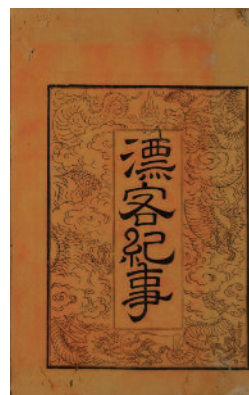
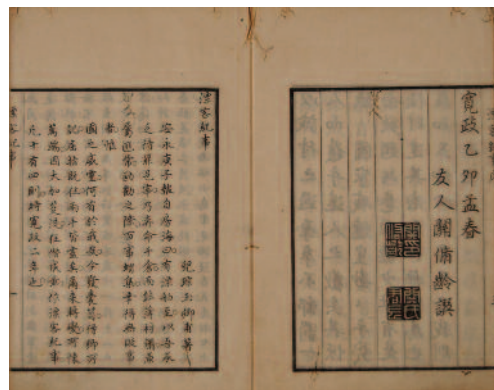
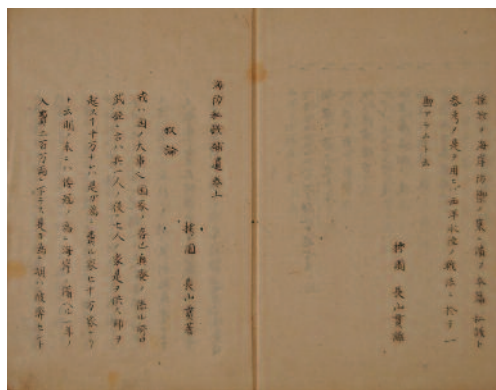
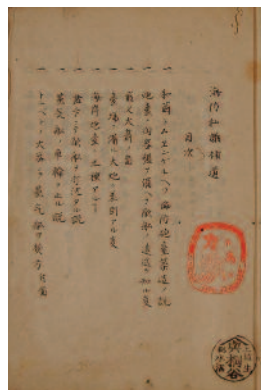


116 磐水存響 乾坤卷 極美本 大槻茂雄編 東京築地活版所 大元 菊判 2 冊 35,000





117 西洋 各國盛衰強弱一覽表 附圖共 袋附 慶應3年 半1冊・半1帖 60,000
=加藤弘藏譯 谷山樓藏梓 柳河春三序 紀伊國屋源兵衛板 舐入



- 118 海防私議補遺 卷上 寫本 樗園／長山貫著 江戸末寫
119 漂客紀事 簽欠 少虫 兒琮玉卿甫著 文化元年跋
=岩槻藩士兒玉南柯 蕉園藏 帙入

大1冊 15,000
大1冊 30,000